

平成29年度

事業報告書

社会福祉法人

四日市市社会福祉協議会

目 次

◎ 会務報告	1
◎ 総括	3

総務課

1. 法人運営事業	4
(1) 第5次四日市地域福祉活動計画の推進	
(2) 職員研修の実施	
(3) 福祉サービス相談窓口の開設	
(4) BCP（事業継続計画）の推進	
(5) 団体活動支援	
2. 市民啓発事業	5
(1) 社協だより「かけはし」の発行	
(2) 四日市市社会福祉大会の開催	
(3) ホームページの更新	
3. 資金貸付事業	7
(1) 生活福祉資金貸付事業の実施	
(2) 資金貸付事業の実施	
4. 財源確保	7
(1) 財政基盤の安定化	
① 社会福祉協議会会費	
② 善意の基金	
③ 寄付金等	
④ 資産運用	
(2) 共同募金運動（三重県共同募金会四日市市共同募金委員会事業）の推進	
(3) 収益事業	
① 「喫茶ふれあい」の経営	
② 「総合会館売店」の受託運営	
5. その他の福祉事業	9
(1) よっかいち福祉の店	
(2) 生活困窮者支援事業	
① 生活困窮者支援緊急食糧提供事業（フードバンク）	
② 生活困窮者就労活動支援事業	
(3) 実習生等の受け入れ実績（総数）	
6. 職員の安全衛生事業	10

地域福祉課

1. ふれあいのまちづくり事業	
(1) 地区社会福祉協議会支援	11
① 地区社協への運営費等の助成	
② 地区社協指導者研修会等の実施	
③ 福祉協力員等活動費補助事業の実施	

④地域福祉活動メニュー事業の実施	
(2) 地域コミュニティの推進	18
①生活支援コーディネーター	
②四日市市小地域福祉活動事業（拠点事業）の実施	
③ふれあいいきいきサロン推進事業及び住民主体サービスの推進	
④四日市市福祉教育大学	
⑤社会福祉相談援助実習	
⑥防災・災害支援事業	
(3) 包括的相談窓口の設置	23
①成年後見サポートセンター	
②地域後見サポート事業	
③福祉総合相談事業	
④三泗日常生活自立支援センター	
⑤生活困窮家庭支援、リユース事業	

2. 福祉ボランティアのまちづくり事業

(1) 相談援助業務	27
①ボランティアに関する相談及びコーディネート業務	
(2) 情報収集と提供	28
①ボランティアニュース「ボランティアのたまご」の発行	
②ボランティア団体会員募集一覧冊子の作成	
③ホームページの更新	
④フェイスブックの更新	
(3) ボランティアのきっかけづくり事業	28
①はじめてのボランティア説明会の開催	
②サマーチャレンジ2017の開催	
(4) 人育て（人材育成）事業	29
①地域福祉活動拠点でのボランティア講座	
②障害者スポーツボランティア講座の開催	
③福祉教育推進事業・福祉教育への支援	
(5) 活動支援（助成）事業	31
①外出援助サービス保険料助成事業の実施	
②ボランティア活動保険の加入促進	
(6) 協働事業	31
①四日市ボランティアキャンペーンの開催	
②ボランティアのつどいの開催	
③コーディネートを考える会議の開催	
④学生〔高校生・大学生〕ボランティア連携事業	

3. 福祉施設の管理運営

(1) 中央老人福祉センター	35
(2) 母子・父子福祉センター	35
(3) おもちゃ図書館	35

福祉支援課

1. 障害福祉支援室

- (1) 障害者自立支援施設「共栄作業所」・・・・・・・・・・・・・・ 37
- (2) 障害者自立支援施設「たんぽぽ」・・・・・・・・・・・・・・ 38
- (3) 障害者自立支援施設「あさけワークス」・・・・・・・・・・・・ 38
- (4) 障害者福祉センター・・・・・・・・・・・・・・ 39
 - ①身体障害者デイサービス事業
 - ②障害者福祉関係団体の支援
 - ③障害者福祉に関する啓発・情報提供
- (5) 障害者自立生活支援センター「かがやき」・・・・・・・・・・・・ 42
 - ①相談業務
 - ②自立支援協議会生活支援部会の運営
 - ③特定相談支援事業
- (6) 視覚障害者福祉センター・・・・・・・・・・・・・・ 43
- (7) 障害者就業・生活支援センター「プラウ」・・・・・・・・・・・・ 43
 - ①相談業務の実施
 - ②関係機関との連携
 - ③講座の開催
 - ④定着支援のために
- (8) 障害者就労支援事業ワークセンター・・・・・・・・・・・・・・ 45
 - ①職場実習の状況

2. 高齢福祉支援室

- (1) 中地域包括支援センター・・・・・・・・・・・・・・ 46
 - ①包括的支援事業
 - ②包括的・継続的ケアマネジメント支援業務
 - ③要支援者ケアプラン及び総合事業ケアマネジメント
 - ④地域支援事業における介護予防事業
 - ⑤参加研修等
 - ⑥実習生の受け入れ
- (2) 訪問介護事業所・・・・・・・・・・・・・・ 47
 - ①介護保険訪問介護サービス
 - ②障害福祉サービス
- (3) 通所介護事業所「ゆりかもめ」・・・・・・・・・・・・・・ 48
- (4) くす在宅介護支援センター・・・・・・・・・・・・・・ 50
 - ①総合相談
 - ②地域介護予防普及啓発、福祉活動推進事業
 - ③介護予防推進事業
 - ④地域ケア会議の開催
- (5) 居宅介護支援事業所・・・・・・・・・・・・・・ 51
- (6) 介護保険認定調査室・・・・・・・・・・・・・・ 52

平成29年度事業報告

【会務報告】

理事会の開催

- ・第1回 平成29年6月5日（月）午後2時～4時 総合会館8階第3・4会議室
議案 1. 任期満了に伴う理事・監事の斉改選について
2. 会長、副会長、常務理事の選定について
3. 評議員候補者の推薦について
4. 平成28年度事業報告及び収支決算報告について
5. 平成28年度監査結果報告について
6. 各種規程の一部変更について
7. 定時評議員会の招集について
- ・第2回 平成29年8月28日（月）午後2時～3時 総合会館8階第3・4会議室
議案 1. 理事の一部変更について
2. 評議員会の招集について
3. 評議員候補者の推薦について
4. 四日市市社会福祉大会における福祉功労者の表彰について
5. 各種規程の一部改正及び廃止について
- ・第3回 平成29年12月15日（金）午後2時～3時 市総合会館8階第3・4会議室
議案 1. 平成29年度収支補正予算について
2. 評議員会の招集について
- ・第4回 平成30年3月26日（月）午後2時～4時 市総合会館7階第1研修室
議案 1. 理事の一部変更について
2. 平成29年度第2次収支補正予算について
3. 平成30年度事業計画及び収支予算について
4. 定款及び各種規程等の一部改正等について
5. 定時評議員会の招集について
- ・書面による理事会の決議
平成29年6月21日（木）
議案 1. 会長、副会長、常務理事の選定について

評議員会の開催

- ・定時評議員会 平成29年6月21日（水）午後2時～4時 市総合会館7階第1研修室
議案 1. 任期満了に伴う理事・監事の斉改選について
2. 平成28年度事業報告及び収支決算報告について
3. 平成28年度監査結果報告について
4. 各種規程の一部改正について
- ・3月評議員会 平成30年3月28日（水）午後2時～4時 市総合会館7階第1研修室
議案 1. 理事の一部変更について
2. 平成29年度第2次収支補正予算について
3. 平成30年度事業計画及び収支予算について
4. 定款の一部改正について

・ 書面による評議員会の決議

平成29年9月6日（水）

議 案 1. 理事の一部変更について

平成29年12月21日（木）

議 案 1. 平成29年度収支補正予算について

評議員選任・解任委員会の実施

第1回 平成29年6月5日（月）午後4時～ 総合会館8階 第3・4会議室

議 案 1. 評議員候補者の選定について

第2回 平成29年8月28日（月）午後4時～ 総合会館4階 会議室

議 案 1. 評議員候補者の選定について

監査の実施

平成29年5月19日（金）午後2時～午後3時30分 市総合会館8階第3会議室

平成28年度事業報告及び会計監査

総 括

少子高齢・人口減少により、地域や家庭における福祉力の脆弱化が進む中、福祉課題の複合化・複雑化、社会的孤立・社会的排除、生活困窮などが全国的な課題となっている。

そのような中、「他人事」になりがちな地域づくりを地域住民が「我が事」として主体的に取り組む仕組みづくりや、対象者ごとの縦割りの福祉サービスを横断的に提供していく「丸ごと」の総合相談支援などが求められている。

また、第5次四日市市地域福祉活動計画の2年目にあたり、基本理念である安心して暮らしつづけることができる福祉のまちづくり～市社協の強みを生かし、「つなげる」から「つながる」へ～に基づき、職員の横断的な連携を掲げ、オール社協で業務執行にあたった。

特徴的な取り組み

○法人運営関連事業

- ・役員及び評議員の一斉改選

新定款による本会理事、監事及び評議員の一斉改選を行い、新体制で業務執行にあたった。
評議員については定数を見直した。

- ・事業継続計画（BCP）の見直し

市作成の「四日市市地域防災計画」の更新により、本計画の被害想定を県域から市域に変更するとともに、雪害被害についても被害想定に組み入れた。

- ・ホームページのリニューアル

本会ホームページのリニューアルを行い、セキュリティ面の強化を行うとともに、視聴者にとって、より見やすく、わかりやすいデザインとした。

○地域福祉関連事業

- ・ふれあいのまちづくり事業

小地域福祉活動の推進を図るため、地区社会福祉協議会連絡協議会の全体事業を実施した。
また、四日市市から生活支援コーディネーター及びふれあいいきいきサロン推進事業の委託を受けて職員5名を配置し、地域包括ケアの実現にむけて拠点事業及び地域ケア会議への出席等を通じて地域組織化に取り組んだ。地域拠点では、住民参加型福祉サービスを協働実施し、総合事業B型のモデル事業として視察受け入れや講師派遣を行った。

- ・成年後見サポートセンター事業

専任職員1名を配置し、成年後見制度や権利擁護事業に関わる相談だけではなく、先駆的事业の開発として制度の狭間で支援の行き届かないケース等に対する相談窓口を設置した。これらの活動から明らかになった課題を解決すべく、福祉関係機関の参画を得た調査研究委員会で身元保証等の新たなセーフティーネット構築に向けた検討を行った。

- ・ボランティアセンター事業

ボランティアセンターのコーディネートの充実を図るために、コーディネートに関わる関係機関との情報交換・情報共有を実施した。

ボランティア活動や福祉を身近に感じてもらえるよう、学校との協働、連携を模索し、さまざまな事業を通じた働きかけを強化した。

2021年三重国体にあわせて開催される全国障害者スポーツ大会へ向け、多くの市民に障害者スポーツの魅力を知っていただく講座を企業と連携して開催した。

- ・日常生活自立支援事業

三重県社会福祉協議会の委託を受けて三泗地域（本市、朝日町、川越町）の基幹的社協として、日常生活自立支援事業を実施した。福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理、書類等の預かりなどの支援を行った。

○障害者福祉関連事業

障害者福祉関連４施設（共栄作業所・たんぼぼ・あさけワークス・障害者福祉センター）は、平成２６年度から平成３０年度までの５年間の４年目の指定管理者として、引き続き管理・運営し、サービス向上と経費削減に努め、事業に取り組んだ。

また、管理業務を円滑に実施し、業務の調整及び情報の交換を図るため、今年度は１１回、市障害福祉課と施設連絡調整会議を開催した。

○高齢者福祉関連事業

中地域包括支援センター・くす在宅介護支援センターは、地域包括ケアシステムの中核機関として、在宅医療と介護との連携の推進・認知症予防地域支援及び初期集中支援・地域ケア会議の開催・介護予防日常生活支援総合事業の取組などを行い地域の福祉力向上を進めた。また、介護保険認定調査の適正実施、介護保険サービスの質の向上に取り組んだ。

介護保険サービスでは、居宅介護支援事業所（四日市、ゆりかもめ）の統合を行い事業の効率化を図った。訪問介護事業所、通所介護事業所では利用者の増加を図るための活動や、新たに総合事業の取組みを行い、特に通所介護事業所では基準緩和通所型サービスＡを４月から市内で先駆けて事業を開始した。

平成２９年度事業報告の詳細は、以下のとおり。

総務課

１．法人運営事業

（１）第５次四日市市地域福祉活動計画の推進

地域福祉活動計画推進検討委員会を立上げ、社協マン座談会を各事業所で開催し、四社協バージョンアッププロジェクト始動の調査及びモデル事業施行のための準備等を行った。

（２）職員研修の実施

職員の資質向上のため、全国社会福祉協議会、三重県社会福祉協議会等が主催する派遣研修に１５７回、延べ２５５人を派遣した。また、本会主催研修の全体研修（交通安全研修やアンガーマネジメント研修など）、所属長研修（各施設長等を対象）、新規採用職員研修、各職場研修、人権研修や市職員研修など７回、延べ１９０人が受講した。

（３）福祉サービス相談窓口の開設

市社協が提供する福祉サービスに対する利用者の満足度を高め、利用者の権利を擁護し、利用者が福祉サービスを快適に利用することができるよう支援するため、福祉サービス相談窓口を開設した。

要求が７件、請求及び責任追及は０件で、全て解決し、継続はなし。（前年度 要求８件、請求及び責任追及は０件）

●相談受付状況

種別	NO	所属名	申出人及び分類	申出内容	対応及び結果
要求	①	中地域包括支援センター	利用者の家族 職員の対応	担当者の家庭への訪問がない。	担当者に確認したところ、利用者本人には、毎回、事業所で面接していたが、自宅への訪問や、家族への説明はなかったとの事。今後は、家族に対しても丁寧な説明と支援を行っていくことで了解を得た。

要求	②	日常生活自立支援センター	NPO 法人職員 職員の対応	窓口対応を改善してほしい。（長時間待たされた。）	対応について担当課長より謝罪し、再発防止策を説明し、納得された。
要求	③	介護保険認定調査室	利用者の家族 職員の言動	調査員の言動について改めてほしい。	調査時の聞き取りにおいて、一部配慮が足りず不快な思いをさせたことを、申出人と家族に謝罪し、納得された。調査時の対応について、改めてミーティングで他調査員へも周知した。
要求	④	あさけワークス	地域住民 施設管理	あさけワークス付近の樹木が通行の妨げになっているため剪定してほしい。	市障害福祉課及び地域の関係者と相談の結果、剪定を行うこととした。申し出人は、対応結果を見て判断するとのことであり、剪定以降苦情はいただいていた。
要求	⑤ ⑥	ゆりかもめ	利用者の家族 職員の対応	利用料請求書等の渡し忘れが何度もあり、再発防止策をきちんと講じてほしい。	担当副参事と所属の長が利用者宅に伺い、謝罪及び、今後の再発防止策を伝え、了解を得た。
要求	⑦	あさけワークス	地域住民 送迎車の停車位置	送迎車の停車位置において、歩道をふさいでおり通れないため改善してほしい。	交通量が多いところであったため、できる限り歩道に寄って停車した結果が、歩道を塞いでしまうこととなった。申出人に謝罪を行い、今後歩道を塞がないように停車することを約束し、納得された。

（４）ＢＣＰ（事業継続計画）の推進

日時	実施内容
平成２９年１１月	第１次四日市市社会福祉協議会事業継続計画（ＢＣＰ）の更新 四日市市防災計画の更新による被害想定の更新及び雪害についての追記など。
１月２５日（木）	ＢＣＰ訓練実行委員会 各部署から１名ずつ実行委員を選出。実行委員会では、市社協ＢＣＰ及びマニュアルの確認、ＢＣＰ訓練における被害想定・当日の動きについての確認を行った。また、各部署のマニュアルにおける課題などの共有を行った。
２月２１日（水）	ＢＣＰ訓練（災害ボランティアセンター緊急対策会議も同時に行う） 大地震が発生した想定で訓練を行った。訓練の被害想定に基づいた自宅等の被害状況を調査し、被災時に出勤するにはどんな方法・経路、どの程度の時間がかかるのか調査実施訓練を行った。また、各事業所においてＢＣＰ業務の見直しを行った。

（５）団体活動支援

三重県共同募金会四日市市共同募金委員会、四日市市民生委員児童委員協議会連合会、四日市市地区社会福祉協議会連絡協議会、四日市市老人クラブ連合会、四日市母子寡婦福祉会、四日市市遺族会の事務局及び支援を行った。

２．市民啓発事業

市社協の事業の紹介や、市民にとって必要な福祉情報等をわかりやすく提供するため、広報紙を発行するとともに、社会福祉大会を開催し、市民の福祉意識の向上に努めた。本会ホームページをリニューアルし、セキュリティの向上を図った。また、随時内容も更新を行い、タイムリーな情報提供に努めた。

(1) 社協だより「かけはし」の発行

市社協事業の紹介及び報告、福祉情報の提供など市社協活動や福祉理解の促進、福祉啓発を目的として発行した。発行回数は年3回、各号約138,000部を市内全戸に配布した。同時に、希望される視覚障害者に、点訳かけはし（1回約19部）、録音かけはし（カセット版1回約7本、CD版1回約14枚）を発行した。また、財源確保のため平成28年度から広告募集を行い、掲載した。

発行日	内 容
6月20日 第141号	〔表紙：おもちゃ図書館まつりの案内、「はじめてのボランティア説明会」〕全4頁 ・平成29年度予算、及び平成28年度決算の報告 ・平成28年度会費のお礼 など
10月20日 第142号	〔表紙：四日市市社会福祉大会の案内、赤い羽根共同募金案内〕全4頁 ・地域福祉課より（生活支援コーディネーターの案内） ・障害者福祉センターだよりWITH（利用者募集、第36回四日市市障害者大会のご案内） など
2月20日 第143号	〔表紙：赤い羽根共同募金運動のお礼、歳末たすけあい見舞金贈呈式の報告、社会福祉大会のお礼〕全4頁 ・中地域包括支援センターより（認知症初期集中支援チームについて） ・ボランティアセンターより（ボランティアキャンペーンのお知らせ） など

(2) 四日市市社会福祉大会の開催

永年にわたり、社会福祉活動に功績のあった個人及び団体を表彰するとともに、講演をとおして広く市民に福祉について考える場を提供し、福祉の意識高揚を図った。

- ・日 時 平成29年11月13日（月）午後1時30分～4時
- ・場 所 四日市市文化会館 第1ホール
- ・参加者 約780名
- ・福祉功労者表彰 35名8団体
 - ・四日市市長表彰 1名
 - ・四日市市長感謝 1名
 - ・四日市市長特別表彰 1名
 - ・四日市市社会福祉協議会会長表彰 24名・3団体
 - ・四日市市社会福祉協議会会長感謝 8名
 - ・三重県共同募金会四日市市共同募金委員会会長表彰 5団体

- ・講 演 いつも何かにときめいていよう～声掛けからはじまる地域の絆～
- ・講 師 藤田 弓子 氏（女優）

(3) ホームページの更新

市社協の組織や事業とともに、職員募集情報や各種講座案内等のページの作成及び更新を年間で192回行い、タイムリーな情報を提供できるよう努めた。

また、セキュリティ面の向上、デザインの変更などを目的として、ホームページのリニューアルを行った。

【市民啓発事業 まとめ】

社協だより「かけはし」は、記事を見て社会福祉大会やボランティアの説明会に参加された方もあり、市民の福祉啓発や市社協のPRに成果がみられた。

「四日市市社会福祉大会」では、『このような機会があると意欲も新たに頑張ろうという気持ちになる』『色々な活動があることを知った』、講演では、『明るい方で元気をもらった』『講演にときめいた。講演の中で話していたことを是非実行していきたい』などの声をいただいた。

引き続き、市民の福祉啓発や市社協活動のPRを行っていききたい。また、社会福祉大会では20代～40代の参加者が比較的少なかったため、20代～40代が市社協や福祉に関心をもつことが出来るような市民啓発に努めたい。

3. 資金貸付事業

(1) 生活福祉資金貸付事業の実施（三重県社会福祉協議会委託事業）

低所得者、障害者、高齢者を対象に貸付の相談、申請、返済などの窓口を担当した。

※は貸付期間が複数年になるもの

資 金 の 種 類	貸付件数	貸 付 金 額
※教育支援費・就学支度費	2 件	499, 650円
障がい者自動車購入費	1 件	920, 000円
技能習得費	1 件	348, 000円
福祉費（転宅費）	2 件	659, 000円
福祉費（エアコン購入）	4 件	300, 000円
総合支援資金（生活支援費）	1 件	190, 000円
緊急小口資金	1 1 件	980, 000円
合 計	2 2 件	3, 896, 650円
28 年度	4 7 件	11, 009, 450円

(2) 資金貸付事業の実施

福祉金庫（A）は生活保護受給者、（B）はその他の低所得者を対象に市保護課と、国民健康保険高額療養費は市保険年金課、介護保険資金貸付は市介護・高齢福祉課と連携して貸付業務を行った。

	福祉金庫（A）		福祉金庫（B）	
	件数	金額	件数	金額
29 年度	2 5 0 件	3, 325, 062円	2 8 9 件 内訳：連帯保証人あり 126 件 生活保護申請 163 件	7, 418, 000円
28 年度	1 6 3 件	2, 132, 000円	3 1 4 件 内訳：連帯保証人あり 136 件 生活保護申請 178 件	9, 239, 000円

	国民健康保険高額療養費		介護保険資金貸付		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
29 年度	2 件	190, 000円	1 件	177, 273円	5 4 2 件	11, 110, 335円
28 年度	1 4 件	2, 769, 000円	1 件	179, 820円	4 9 2 件	14, 319, 820円

4. 財源確保

(1) 財政基盤の安定化

①社会福祉協議会会費

29 年度	会費の種類	会員数	会 費
	一 般 会 員	889人	989, 500円
	団 体 会 員	338団体	3, 355, 395円
	合 計	—	4, 344, 895円
28 年度	会費の種類	会員数	会 費
	一 般 会 員	967人	744, 000円
	団 体 会 員	339団体	3, 317, 050円
	合 計	—	4, 061, 050円

②善意の基金

香典の一部または全部、チャリティ募金等を社会福祉のために、という趣旨の寄付を積み立てた。

年 度	積立額	基金（年度末現在）
29 年度	3, 224, 903円	175, 994, 801円
28 年度	2, 202, 827円	172, 769, 898円

③寄付金等

(ア) 現金

	29 年度	28 年度
香典の全部または一部、チャリティバザー等	3, 223, 355円	2, 204, 375円
上記以外の寄付 (企業から施設への指定寄付、NHK歳末金等)	96, 200円	82, 000円
合 計	3, 319, 555円	2, 286, 375円

(イ) 物品寄贈

白い小箱（災害用非常食品）、生活困窮者用食糧、車椅子、加湿器など

④資産運用

自主財源の確保を目的に、本会資産運用規程（第39条第2項余裕資金の運用）に基づき、長期国債を中心とした資産運用を行い、今年度は利息により3, 416, 880円の利益があった。

(2) 共同募金運動（三重県共同募金会四日市市共同募金委員会事業）の推進

10月1日、7日、8日にPRセレモニー・街頭募金を行った。平成28年度に引き続き、こにゅうどうくんバッチを3, 000個作成し啓発した。

29 年度	種 別	目標額	実績額	達成率
	一般募金	43, 733, 800円	38, 286, 877円	88. 26%
	歳末たすけあい募金	900, 000円	2, 094, 635円	187. 55%
	合 計	44, 633, 800円	40, 381, 512円	
28 年度	種 別	目標額	実績額	達成率
	一般募金	43, 841, 000円	38, 693, 973円	88. 26%
	歳末たすけあい募金	900, 000円	1, 593, 133円	177. 01%
	合 計	44, 741, 000円	40, 287, 106円	

(3) 収益事業

①「喫茶ふれあい」の経営

	29 年度	28 年度
営 業 日 数	247日	246日
年 間 総 収 入	9, 468, 969円	10, 027, 082円
1 日 平均 利用 数	約40名	約42名
1 日 平均 売上 額	38, 336円	40, 760円

②「総合会館売店」の受託運営

	29年度	28年度
営業日数	250日	249日
年間総収入	29,483,819円	31,193,789円
1日平均利用数	約236名	約242名
1日平均売上額	117,935円	125,276円
法人運営事業繰入	700,000円	650,000円

5. その他の福祉事業

(1) よっかいち福祉の店

社会福祉施設利用者や在宅高齢者などの手作り作品を、販売ボランティアの協力を得て、販売した。また、地区文化祭等行事、北伊勢上野信用金庫、その他各関係機関のご協力により、展示即売会を実施した。今年度は悪天候で中止になる行事もあり昨年度32回に対し、23回であった。

常設店であるイオン尾平店を閉店したため、新規イベントの参加や、市総合会館売店での展示販売を実施した。

年度	常設店	年間売上実績
29年度	市総合会館1階 開店日数(年間) 240日	3,919点 1,570,360円
28年度	市総合会館1階 開店日数(年間) 155日 イオン四日市尾平店 開店日数(年間) 347日	7,523点 2,686,300円

(2) 生活困窮者支援事業

平成27年7月から三重県社会福祉協議会が実施する「みえ福祉の『わ』創造事業」に加わり、以下の支援を行った。

①生活困窮者支援緊急食糧提供事業（フードバンク）

延べ92名、114件（28年度：延べ144名、177件）

②生活困窮者就労活動支援事業

交通費助成（15件）

(3) 実習生等の受け入れ実績（総数）

各事業所において将来の福祉を担う人材育成を目的に、福祉専門職（社会福祉士・介護福祉士）や、看護師、教職員または、小学校・中学校福祉体験、四日市市新規採用職員研修等を受け入れ、本会が持つ機能、役割などについて学ぶ機会を提供した。

また、総務課では、三重県立盲学校の生徒1人の職業体験実習の受け入れを行った。

種 別	人 数
社会福祉士	1人
介護福祉士	3人
看護師	8人
教員免許	7人
市新規採用職員	56人
小・中職場体験	13人
小・中福祉体験	58人
その他（西日野にじ学園・北勢きらら学園、三重県立盲学校 職業実習）	7人
合 計	153人
28年度	64人

6. 職員の安全衛生事業

○第1回衛生委員会

実施日・場所 平成29年7月7日（金） 市総合会館 7階 第3研修室

内容：平成29年度衛生委員会の実施計画案について

第90回「全国安全週間」に伴う当法人の取り組みについて

産業医講話「感染症の予防―食中毒を中心として―」

○第2回衛生委員会

実施日・場所 平成29年8月25日（金） 市総合会館 4階 会議室

内容：産業医による職場巡視を当日実施

⇒ 喫茶ふれあい・総合会館地下売店

「職場の安全衛生について」巡視のチェックポイントの解説（産業医）

「全国労働衛生週間」の実施に合わせ、本会も10月1日～7日「ゼロ災活動」を実施し、
全職員にワッペンを配布

○第3回衛生委員会

実施日・場所 平成29年12月8日（金）

内容：安全衛生委員によるプラウ・ワークセンター・障害者福祉センター・かがやきの「職場巡視」

○第4回衛生委員会

実施日・場所 平成30年3月9日（金） 市総合会館 4階 会議室

内容：平成29年度「職員健康診断結果」を基に産業医の講評

ストレスチェック結果報告、産業医の講評

12月8日の職場巡視結果報告

平成30年度本会の「年間安全衛生管理計画」

⇒「安全衛生に関する基本方針」及び「年間安全衛生目標・スローガン」の決定

地域福祉課

1. ふれあいのまちづくり事業

生活支援コーディネーターを3名配置、「市エリア」「ブロックエリア」「地区エリア」「小地域エリア」4つのステージに区分して事業を展開した。それぞれのステージで協議体を設置し、情報を共有する中で調査研究をすすめた。地区エリアで開催される地域ケア会議においては、地域の福祉課題の共有をおこない住民自らが町の課題に取り組めるようにわが町まるごとの体制を推進した。住民主体サービスや空き家を活用した交流スペースなど地域事情にあった実践活動の開発を実施した。また、ふれあいいきいきサロン推進員を2名配置し、自宅から歩いていける場所で介護予防活動や交流の場を確保できるようにふれあいいきいきサロン活動の整備を支援してきた。さらに、各地区民生委員児童委員協議会へ参画し、地域の福祉課題の解決に向けた活動を支援した。

総合相談事業では、気軽な市民の福祉相談の窓口として、さらには処遇困難事例等への相談体制も充実していくなど包括的な福祉相談の担い手として関係機関との連携を密に取りながら問題解決や福祉ニーズの把握に努めた。

(1) 地区社会福祉協議会支援

地域において、地域福祉活動を推進していく基盤となる地区社協との連携強化に努めた。

①地区社協への運営費等の助成

(ア) 地区社協組織活動補助金…1地区 40,000円。支部(校区)社協を組織化している地区については1支部(校区)社協につき8,000円を加算。

(イ) 地区社協事業費補助金…地区の世帯数による

(ウ) 地域福祉活動メニュー事業補助金…実績方式

(エ) 共同募金交付金…目標額の21%(実績が目標額に達しない場合はその額)と目標超過額の90%

②地区社協指導者研修会等の実施

(ア) 地区社協連絡協議会 全体会議・・・103名出席

平成29年6月22日(木) 市総合会館 8階視聴覚室

内容 1. 会長・副会長の選任について

2. 市社協評議員の選出について

3. 指導者研修会の開催について

4. 市社協 補助金について

5. 情報提供・出前講座の案内

○「介護予防・日常生活支援総合事業」について

○「四社協福祉ゼミナール」について

○「市社協 出前講座」について

○「ボランティア活動保険」について

(イ) 地区社協リーダー研修会／補助金説明会・・・133名出席

平成30年2月15日(水) 四日市市勤労者・市民交流センター

内容 1. ふれあいいきいきサロンにおける食品衛生管理のポイントについて

2. 平成30年度補助金の変更について

3. グラウンドゴルフ大会について

(ウ) 地区社協ブロック別 会長会議

平成29年8月23日(水):北部、8月24日(木):中部、8月24日(木):南部

内容 1. 四日市市社協事業報告について

2. 全体事業(グラウンドゴルフ大会)について

3. ふれあいいきいきサロン補助金の変更について

4. 交通費の支給について
5. 備品購入について
6. 情報交換

平成30年1月22日（月）：北部、23日（火）：中部、24日（水）：南部

- 内容
1. 全体事業（グラウンドゴルフ大会）について
 2. 平成30年度補助金の変更（ふれあいいきいきサロン補助金）について
 3. リーダー研修会について
 4. 意見交換

(エ) 全体事業（グラウンドゴルフ大会）の開催

グラウンドゴルフ実行委員会の開催

実行委員会…平成29年12月6日（水）

大会：平成30年4月11日（水） 四日市ドーム

参加人員…158名（北部59人、中部：47人、南部52人）

(オ) 小地域福祉活動ホームページの開設

市社協ホームページに「小地域活動応援サイト」の運営

③福祉協力員等活動費補助事業の実施

地域福祉活動の推進者である福祉協力員等の活動のより一層の促進を図るため、運営費20,000円、活動費として福祉協力員等1名につき年間3,000円（上限80,000円）を補助し、活動を支援した。

・実施地区（13地区）

共同、中央、橋北、海蔵、羽津、富田、下野、三重、桜、川島、神前、内部、大矢知

・地域ゼミナールの実施（13地区）

福祉協力員により各地域で福祉勉強会を実施した。

④地域福祉活動メニュー事業の実施

平成8年度から地区社協に対する具体的な支援として「地域福祉活動メニュー事業」を開始した。平成10年度からは、対象を小学校区に組織化されている地区社協に拡大し、平成12年度からは、高齢者などの介護予防や地域での交流・出会い、憩いの場としての「ふれあいいきいきサロン」活動を進めていくための運営費や、新規に活動を立ち上げる資金を支援するメニューを加えた。また地区社協の取り組みに際し、各地区の福祉活動状況や地域特性を踏まえて、それぞれの地域課題を明らかにし、事業の企画段階から市社協職員が参画して、支援を行ってきた。

(メニュー内容)

- ・学習・啓発事業
- ・交流事業
- ・ふれあいいきいきサロン事業

●学習・啓発事業 13地区（支部を含む） 21メニュー （28年度：10地区 19メニュー）

地区	事業名	内容	人数
共同	視察研修	京都大和の家	39
	福祉勉強会	演題「振り込め詐欺の現状」講師を招いての勉強会	33
橋北	福祉講演会	演題「災害時に必要な手話」講師を招いての勉強会	250
富洲原	福祉講演会	演題「認知症は早期発見早期対応」講師を招いての勉強会	53
八郷連合	高齢者大学	演題「知っておきたい医療と福祉の現状」講師を招いての勉強会	83
八郷	高齢者大学	演題「こころと住まいのお片づけ」講師を招いての勉強会	50
	介護のお話会	特養・デイサービス施設見学会・体験会	29
	介護のお話会	演題「21世紀の健(けん)口(こう)長寿を手に入れよう！」	25
八郷西	高齢者大学	演題「こころと住まいのお片づけ」講師を招いての勉強会	50

	環境教室1	子ども陶芸教室	16
	環境教室2	子ども陶芸教室	16
桜	史跡めぐり	桜地区内の史跡をめぐり郷土歴史学習	60
	バードウォッチング	身近な自然を観察して環境学習	40
高花平	健康講演会	演題「お家でできる簡単リハビリトレーニング」講師を招いての勉強会	51
河原田	環境教室	講師を招いて講演会とキーホルダー作り	32
日 永	環境教室	講師を招いて講演会とコルク板で作るボード作成	23
県	青少年育成講演会	演題「地域で育つ子どもたち」講師を招いての勉強会	43
常磐	福祉講演会	演題「桜ボランティア協会の活動紹介」	53
塩浜	介護予防講座	演題「ノルディックウォーキングとは」講師を招いての勉強会	25
	健康講座	演題「アレルギーのメカニズムと対象法」講師を招いての勉強会	70
	介護予防講座	健康維持のための体操	70

●交流事業 20地区（支部を含む） 44メニュー （28年度：20地区 44メニュー）

地区	事業名	内容	人数
共 同	ぬくもりの集い	ひとり暮らし高齢者を招いての交流会、体操やバイオリン演奏	80
	ふれあい広場	地域の関係機関が一同に会し、交流するイベント。小中学校のブラスバンドや諏訪太鼓の演奏	750
同 和	ひとり暮らしの集い	ひとり暮らし高齢者を招いての交流会、介護講座、マジックショー	32
同和・中央	三世代交流もちつき大会	中央地区、同和地区の共催事業。ゲーム、もちつきなど	250
中 央	ひとり暮らしの集い	ひとり暮らし高齢者を招いての交流会、出前講座、ロコモ体操	55
港	ひとり暮らしの集い	ひとり暮らし高齢者を招いての交流会、マンドリンの演奏	71
	ふれあい広場	地域の方のふれあいイベント、福祉講演会、お菓子づくり、うどんの振る舞いなど	450
浜 田	ひとり暮らしの集い	ひとり暮らし高齢者を招いての交流会	62
	餅つき交流会	地域のだれでもが参加できる交流の場として餅つきやゲームなど	400
海 蔵	小学生と七夕交流会	海蔵小学生と高齢者の交流事業。七夕の飾りつけなど	126
羽 津	ひとり暮らしの集い	ひとり暮らし高齢者を招いての交流会、諏訪太鼓演奏やリズムメイトによる歌と演奏	123
富洲原	グラウンドゴルフ大会 春	地域住民を対象としたグラウンドゴルフ大会	95
	グラウンドゴルフ大会 秋	地域住民を対象としたグラウンドゴルフ大会	95
	ウォークラリー大会	地域住民を対象としたウォークラリー大会	100
八郷	八郷西グラウンドゴルフ大会	地域住民を対象としたグラウンドゴルフ大会	63
	囲碁大会(納涼)	地域住民を対象とした囲碁大会	13
	夏休み子ども工作まつり	地域の子どもの対象とした工作教室	97
	囲碁大会(新春)	地域住民を対象とした囲碁大会	16
県	ふれあい文化祭	地域住民全体事業。講演会、大道芸、作品展示、サークル発表等	600
	綱引き選手権大会	地域住民全体事業。綱引き後ぜんざいで交流。	250
桜	リフレッシュ健康体操	高齢者の転倒予防、介護予防や認知機能向上のためのエクササイズ	42
	さくらふれあいまつり	福祉施設との交流会。手品、歌など	103
川 島	川島町北部第一親睦会	地域住民を対象としたグラウンドゴルフと昼食会	64
	親睦もちつき大会	ひとり暮らし高齢者との交流	80

神 前	カラオケ大会	高齢の方でカラオケを楽しんでいる方の発表会	64
	盆おどり大会	地域住民全体事業。盆踊り、屋台、カラオケ等	549
四 郷	共栄作業所との交流会	福祉施設との交流会	90
高花平	保育園児との交流会①	高齢者と保育園児との交流会	34
	保育園児との交流会②	高齢者と保育園児との交流会	21
	保育園児との交流会③	高齢者と保育園児との交流会	30
	幼稚園児との交流会④	高齢者と幼稚園児との交流会	60
	幼稚園児との交流会⑤	高齢者と幼稚園児との交流会(焼き芋会)	70
	ふれあい音楽会	地域の方を対象とした音楽会	134
	地域交流折り紙教室	高齢者と児童との交流会	25
常 磐	地区在住のろう者との交流会2	健常者と障害(ろう)者との交流やもちつき	14
河原田	障がい者ふれあいの集い	在宅障害者の方を招待して遠足	11
	梅林ウォーキング大会	ウォーキングを通じて地域住民の健康と親睦	34
	親子調理教室	親子で和菓子づくりの交流会	28
日 永	ひとり暮らし高齢者の集い	ひとり暮らし高齢者を招いての交流	426
塩浜	ふくしサロン	地区の高齢者を対象とした交流会	73
	交流手芸教室	手芸を通じて児童と大人の交流会	22
	人権福祉講演会	地域の方に漁師汁を振る舞い、音楽を楽しむ	61
	新春落語会	落語を通して世代間交流を図る	94
楠	ふれあい農園	農作業を通して世代間交流を図る	20

●ふれあいいきいきサロン 33地区(支部を含む) 576サロン(28年度:34地区 467サロン)

	地区名	回数	参加者数	サロン名	サロン数
1	共 同	412 回	4,353 人	いろは会(グランドゴルフ、健康体操、絵手紙、イベント・企画)、ふれあいいきいきサロン、サロン時計台(編み物、イベント・企画、ラジオ体操)、なでしこ会カフェ	9
2	中 央	24 回	556 人	中央地区ふれあいサロン、新町おしゃべりサロン、ほほえみクラブ	3
3	港	45 回	479 人	港いきいきサロン、笑和ホネホネクラブ、お茶を楽しむ会	3
4	浜 田	81 回	966 人	笑話会、ふれあいおはなし会、ロコモーショントレーニングの会、グランドゴルフ愛好会、浜田サロン、曙一丁目サロン	6
5	同 和	46 回	634 人	同和地区社協カフェサロン、あんずの会(イベント、手芸、歌、体操、茶話会、踊り)	7
6	橋 北	12 回	770 人	にこにこサロン日曜給食サービス	1
7	海 蔵	356 回	4,177 人	折り紙サークル、パソコン教室、おどり愛好会、体操カラオケ愛好会、グランドゴルフ、茶のみサークル、音楽療法、コーヒーサロン、パステルアート、キルトあみもの、川柳の会、海蔵地区「野田みどりサロン」	14
8	羽 津	46 回	704 人	エミ(笑み)の会単一、エミ(笑み)の会イベント、ふれあいサロン「仲良し会」、城山・いきいきクラブ、サロンほんごう	5
9	富洲原	106 回	3,437 人	いきいきサロン転ばぬ先のオモリ、松原きらく会、天カ須賀きらく会	3
10	富 田	910 回	15,560 人	いこいのサロン、すみれサロン、宅老所歌おう会、なかよしクラブ、富田グラウンドゴルフ愛好会、ラジオ体操クラブ、カラオケクラブ、パソコン何でも相談室、おやじサロン、ハッピーサロン、北鰯グラウンドゴルフ愛好会、茂福ワイワイヨガサロン、長生き健康クラブ、百歳体操西町クラブ、北勢グラウンド・ゴルフ同好会、茂福いきいきクラブ	16

11	大矢知	888 回	12,536 人	松寺寿会、松寺お達者クラブ、蒔田グランドゴルフ、なごみクラブ、松寺ふれあい手芸クラブ、十志町ものづくりの会、十志町健康づくりの会、御殿まりをたのしむ会、松寺若葉会ホットサロンいきいき、エンドレス、グランドゴルフ愛好会、蒔田なかよしサロン絵手紙、蒔田なかよしサロン手芸・写経、蒔田なかよしサロンちぎり絵、蒔田なかよしサロンイベント・企画、知りたい輪ものづくり、知りたい輪イベント、川北キング体操、川北キンググランドゴルフ、下之宮そよ風サロン、下之宮ハピネスサロン、卓球下之宮ハピネスサロン、いきいき百歳体操、下之宮ハピネスサロン、フラダンスの会、下之宮ハピネスサロン健康体操教室、下之宮ハピネスサロン麻雀、下之宮ハピネスサロンカラオケを楽しむ会、歌を歌って元気になる会、いきいき100歳体操、蒔田たいそうクラブ、陣屋いきいき体操	31
12	八 郷	527 回	8,485 人	蒔のとう、きらく、ダム之歌の会、ミュージックベルの会、いきいき体操、ふれあいサロン、あじさい広場、カフェサロンあじさい、あゆみの会、ぼちぼち庵、ゲー・チョコ・パー、さるびあ会、地域活動センター虹の会「虹カフェ」、平津新町おしゃべりカフェ、琴仙会、太極拳サークル、ベルの会、伊坂台お達者クラブ、平津新町パソコン広場、八郷元気かい！、平新お達者クラブ、平新歌のもくいち、こすもす会、平津新町詩吟クラブ、中村町お達者クラブ、楽笑会、さくら手芸教室、スマイリーズ、おたのしみ会、心身ストレッチ健康、サークル平新、山分町健康づくり教室	29
13	八 郷 (西)	422 回	3,778 人	たんぼぼの会、八郷西もみじクラブ、暁風会、八郷西陶芸クラブ、トマリ会、ひまわり会コーラス、ひまわり会手芸、ひまわり会イベント・企画、睦会生け花、睦会イベント・企画、和の会、さくらの会ふれあいランチタイム	13
14	下 野	712 回	11,837 人	山城詩吟クラブ、卓球本間グループ、コーラスサークル「和み」、あさけが丘一丁目卓球愛好会、あさけが丘グランドゴルフ愛好会、札幌町グラウンドゴルフ愛好会、北山町ワイワイクラブグランドゴルフ愛好会、北山町ワイワイクラブカラオケ愛好会、西大鐘グラウンドゴルフ愛好会、八千代台絵手紙教室、やちよ俳句会、Asakegaokaらくらくサロン、あさけが丘憩いのサロン、下野活き域ネットあさけが丘、下野活き域ネット八千代台、下野活き域ネット山城町、北山介護予防(KKY)サロン、あさけが丘カラオケ歌おう会	18
15	三 重 (中央)	593 回	9,803 人	川向グラウンドゴルフクラブ、生桑町グラウンドゴルフクラブ、東坂部町グラウンドゴルフ愛好会、山之平GOGO会、寺小屋健康体操、寺子屋 イベント・企画、生桑町ふれあいサロン、輝(かがやき)サロンおしゃべり、輝(かがやき)サロン健康麻雀、輝(かがやき)サロンお茶会、御館グラウンドゴルフクラブ	8
16	三 重 (西)	1,897 回	28,455 人	三重西ふれあいサロンスマイルおしゃべり、三重西ふれあいサロンイベント・企画、結(イベント・企画、体操)、三重ラジオ体操同好会、おしゃべり愛好会、笑みの会、三重 5 丁目ラジオ体操グループ、美里が丘カラオケ愛好会、第 2 美里ヶ丘ラジオ体操愛好会、第 2 美里ヶ丘親睦会、美里が丘体操クラブわかば会、三重六丁目ラジオ体操同好会、なのの会、三丁目友好会いきいきマージャン教室、三重団地俳句の会「みはらし」、睦(むつみ)、美里が丘井戸端会議(みどり会)	18
17	三 重 (北)	1,319 回	13,615 人	山之一色町グラウンドゴルフ 愛好会、介護予防の会「さえずり会」手芸、介護予防の会「さえずり会」歌・健康体操、GOGO グランドゴルフ男性サークル、GOGO グランドゴルフ女性サークル、大沢台さつき会グランドゴルフ、大沢台さつき会麻雀、大沢台さつき会太極拳、大沢台さつき会歌の会、大沢台さつき会大正琴、大沢台さつき会手芸・料理、大沢台さつき会ラジオ体操、大沢台さつき会イベント・企画、大沢台さつき会卓球、大沢台さつき会カフェサロン、元気サロン1丁目、坂部が丘四丁目生き生きクラブグラウンドゴルフ、坂部が丘四丁目生き生きクラブ歌・食事、坂部が丘1丁目グラウンドゴ	22

				ルフ、GOGO ヨガサークル、坂部が丘タウン・パクパク会、坂部が丘百歳塾などでしこ、一丁目グランドゴルフ愛好会	
18	大谷台	942 回	9,967 人	いきいきサロン長寿会グランドゴルフ、小杉ヨガ教室、いきいきサロン福寿会グランドゴルフ、みゆきヶ丘一丁目自治会いきいき健康サロン(コーラス、百人一首、読書、熟年会、百歳体操)、いきいきサロン大谷台、大谷台 2 丁目いきいきサロン長寿会(グランドゴルフ、太極拳・フィットネスタイチ、生花、囲碁、健康イキイキクラブ)、南垂坂町シニアクラブ(歩こう会、生花教室、グランドゴルフ同好会、イベント・企画)、ふれあいいきいきサロン「大空」、いきいきサロン・タルサカ、いきいきサロン・大谷台ヨガ、いきいきサロン・垂坂グラウンドゴルフ愛好会、いきいきサロングランドゴルフ、健康麻雀同好会、いきいきサロン小杉新町グランドゴルフ同好会、いきいきみゆき2、ひまわりの会、囲碁・将棋同好会、絵手紙(桜の会)、太極拳同好会、唱歌(あじさいの会)、おしゃべり広場(カフェサロン)、今日もげんき会、月一趣味の会	34
19	県	1,161 回	16,742 人	赤水町グランドゴルフ仲良会、五月会(大正琴)、スイトピー(大正琴)、上海老グランドゴルフ愛好会、上海老手芸クラブ、大沢いきいきサロン寿会、大沢手芸鶴の会、大沢いきいきサロンお達者倶楽部、カフェサロン大沢、いきいき体操仲良会、グランドゴルフ仲良会、カラオケ仲良し会、ヨガ仲良会、平尾町ふるさと広場、平尾町グランドゴルフ同好会、栄グランドゴルフクラブ、栄手芸クラブ、あがたゲートボールクラブ、北黒江グランドゴルフ愛好会、ハイツふれあいクラブ、ハイツにこにこ会、書・小野小町、ハイツ夢クラブ、あがたハイツ、グランドゴルフクラブ	24
20	桜	232 回	4,219 人	桜ボランティア協会憩いの家、桜ボランティア協会、駅前憩いの家健康講座、桜ボランティア協会、駅前憩いの家健康体操と歌、桜ボランティア協会駅前憩いの家手芸、桜ボランティア協会駅前憩いの家映画鑑賞、山上いきいきサロンパッチワーク、山上いきいきサロン映画・音楽会、山上いきいきサロン講演会・民話・落語、桜花台ふれあいサロン健康体操、桜花台ふれあいサロンイベント・企画、桜南ほかほかくらぶ、智積第6イキイキサロン、一色いきいきサロンイベント・企画、一色いきいきサロングランドゴルフ、ほっとカフェ“ぽかぽか”、桜台3丁目交流サロン、桜台PCサロンさわやかイキイキ教室、健康増進ふれあいサロン、桜台バトミントンクラブ、桜ボラ協農園	20
21	川 島	602 回	11,807 人	なんぶ熟、けやき台(ゆーらくサロン、カラオケ、グランドゴルフ、カフェサロン)、西部ふれあい会、三滝台(卓球クラブ木曜会、グランドゴルフ倶楽部、サロンふれあい)、いきいきサロン絆、川島新町悠遊サロン、さくら熟年会、東部(いきいき楽話会、いきいき水茎会、いきいきクラブ)、やよい会GGC、ちよぼらかわしま(元気サロン、カフェサロン、イベントサロン)、かわしまカフェサロン園、かわしま健康サロン、小生はなみずき会、きさらぎ会	23
22	神 前	1,189 回	19,991 人	菅原町ふれあい広場生け花、菅原町ふれあい広場、グランドゴルフ、寺方 GG クラブ、寺一カラオケ愛好会、寺一お達者クラブ、大日 Café サロン、高角町ふれあい広場、高角グラウンドゴルフかきのした、高角町グラウンドゴルフ会、ふれあい笑話会、曾井 YY クラブ、曾井町グラウンドゴルフ、パッチワーク、より曾井サロン、尾平卓球、尾平カラオケ会、尾平どんぐりクラブ、グラウンドゴルフ、尾平町どんぐりクラブお達者クラブ、高齢者「サロン尾平」、上名ヶ丘ふれあい話そう会、上名ヶ丘ふれあいカラオケ、上名ヶ丘ふれあい体操、美里が丘ふれあい広場、美里が丘ラジオ体操同好会、カフェあったかつの、上名ヶ丘卓球同好会、曾井町ピンポンズ、曾井町いきいき体操、寺方町一区いきいき百歳体操	29

23	常 磐	1,017 回	12,581 人	きらめきサロンカラオケ、きらめきサロンストレッチ、きらめきサロン手芸、きらめきサロン生け花、きらめきサロンイベント・企画、きらめきサロンカフェサロン、久保田ふれあいの会楽器、久保田ふれあいの会イベント・企画、西松本ふれあいサロン生け花、西松本ふれあいサロン囲碁、西松本ふれあいサロンお茶べり会、西松本ふれあいサロンイベント・企画、西松本ふれあいサロンカフェ、青葉町生き生きサロンピンポン、青葉町生き生きサロンイベント・企画、青葉町生き生きサロングランドゴルフ、青葉町生き生きサロン水墨画、青葉町生き生きサロン生花、青葉町生き生きサロンカラオケ、いぐらふれあいの会、まつもとイキイキクラブ青春映画サロン 西伊倉、城東シニアクラブ、ときわ三丁目ふれあいサロンイベント・企画、ときわ三丁目ふれあいサロン囲碁・将棋、ときわ三丁目ふれあいサロン太極拳、ときわ三丁目ふれあいサロン体操、ときわ三丁目ふれあいサロンカフェ、ときわ三丁目ふれあい、サロン卓球、ときわ五丁目ふれあいサロン、ふれあいカフェえがお、ふれあいカフェ城西	32
24	四 郷 (旧四郷)	320 回	5,496 人	いきいきサロン悠友室山フォークダンス、いきいきサロン悠友室山お達者クラブ、いきいきサロン悠友室山歌の会、いきいきサロン悠友室山介護センター講和、いきいきサロン悠友室山イベント・企画、いきいきサロン悠友室山足裏健康法と食育、ふれあいいいきいきサロン「絆」グランドゴルフ、ふれあいいいきいきサロン「絆」イベント・企画、出雲の森グランドゴルフ、出雲の森フォークダンス、出雲の森イベント・企画、出雲の森手芸同好会、小鹿が丘ふれあいいいきいきサロン「かのこ」イベント・企画、小鹿が丘ふれあいいいきいきサロン「かのこ」講座、西日野町ふれあいいいきいきサロン	15
25	四 郷 (笹川)	1,225 回	18,679 人	わかさちぎり絵、わかさ笹の会、パッチワーク、睦月会(日本画)、わかさ陶芸友の会、わかさおしゃべりカラム、わかさ7丁目女子会、わかさ4丁目おしゃべり、わかさ体操、わかさバランスポール体操、わかさセブングラウンドゴルフ、わかさ民生の会、わかさ会、笹川ポプラの会、桜の会、和みの輪、五号公園ラジオ体操仲間、8丁目グランドゴルフ仲間、村田女子麻雀塾微笑、小物入れ造り微笑仲間、きずなの会微笑、村田男子麻雀塾微笑、手工芸品造り微笑仲間、8パソ教室微笑、俳句村田塾微笑、体操と映画で集う微笑仲間、唱歌と映画で集う微笑仲間、笹ッパ老人会微笑、サロン食事会微笑、カフェサロン微笑だんだん、いきいきサロン【かがやき】カフェ、いきいきサロンかがやき童話を歌う会、いきいきサロンかがやき囲碁・将棋の会、いきいきサロンかがやき手芸・編み物の会、いきいきサロンかがやきカラオケの会、いきいきサロンかがやき料理教室、いきいきサロン健康体操、いきいきサロンかがやき早朝ラジオ体操の会、いきいきサロンかがやきハングル教室	38
26	四 郷 (高花平)	1,098 回	18,894 人	絵手紙教室、いこいっこ囲碁、いこいっこ謡曲、いこいっこパソコン教室、いこいっこおしゃべり会、いこいっこお話し会、いこいっこ手芸、いこいっこイベント・企画、いこいっこ和紙人形づくりの会、いこいっこ高花平将棋クラブ、いこいっこカフェ、ミニ福祉教室、生活リハビリお達者教室、小林町 ほほえみ会、小林町ラジオ体操愛好会、高花平ラジオ体操愛好会、高花平グランドゴルフ倶楽部、太極拳同好会、ヨガサークル	18
27	小山田	418 回	4,617 人	西山町はればれクラブ、小山町グランドゴルフ健康会、鹿間町元気になる会、山田町高齢者教室健康体操、山田町囲碁・将棋、山田町100年史を語る会、ひだまりカフェサロン、堂ヶ山町グランドゴルフ、大正琴(小山田琴友会)、小山町慶寿会(なごみ会)、山田町(歩こう会)健康体操の会	12
28	水 沢	189 回	1,770 人	葉穂の会 水沢、起勢の会、青葉会、絵手紙笑顔の会、そば打ち同好会、水沢クプナ・フラ、水沢茶どころ吟詠会、墨楽会、茶葉一ズ	9

29	日 永	936 回	18,182 人	元気火曜日会、猿法師ラジオ体操同好会、サロンきらら、アロハサークル、泊小柳町カラオケ同好会、えがお、青空サロン、ミニデイサービス、ふれあい会、わかば会(グランドゴルフ新町クラブ)、絵手紙教室どんぐりの会、南日永ラジオ体操、ついでたち会第4クラブ、気功を楽しむ会、前田新町体操教室いきいきサロン、お達者クラブ、前田新町カラオケ教室いきいきサロン、社交ダンスサークルキラキラ、キラリ小柳、泊小柳町和楽サロン、中瀬古クラブ、フォーククラブカフェサロンクローバー、泊山南部たけクラブ、おしゃべりサロン「サルビア」、泊山崎町中部お達者クラブ、いこいのサロン「止まり木」、カフェサロン和、ひとやすみひまわり、南部おしゃべりサロン Jocy 会、カラオケサロンいこい	29
30	塩 浜	892 回	15,214 人	大里町グランドゴルフ愛好会、大里町カラオケ愛好会、川合町いきいき100歳体操クラブ、川合町 なかよし会A、しおはまグランドゴルフクラブ、川合町 なかよし会Bほんまち絆サロン、ソルトビーチカフェ、ふれあいの集い、中里町ふれあいサロン、中里町GG若竹会、ふれあい広場 福寿草(B)、ふれあい広場 福寿草(A)グランドゴルフ、ふれあい広場福寿草(A)いきいき会、ふれあい広場福寿草(A)お達者クラブ、馳出町ふれあい広場、馳出町イキイキサロン、磯津町ふれあいサロン、お達者クラブ磯津、お達者クラブ北町、お達者クラブ西町、ポエム小浜いきいきサロン、ポエム小浜(七宝教室)、ポエム小浜GGC、海山道ふれあいサロン、海山道カフェサークル、遊遊倶楽部、海山道町ふれあいサロン、海山道町ふれあいサロン(イキイキ健康体操教室)、大池町竹の子会A、大池町竹の子会B、すみれ会、ふれあいサロン「ほっと」、ふれあいサロン塩浜	34
31	内 部	1,019 回	10,501 人	あったか交流サロン、北小松町ふれあいいきいきサロン、歌の会小古曽教室、小古曽グランドゴルフ愛好会、ニコニコヨガ教室、ハツラツ詩吟教室、ふれあいピンポン、キッチンフレンド、オゴソシスターズ、フラダンスの会、南小松グランドゴルフクラブ、東原 GG クラブ、手芸クラブひなぎく、いきいきクラブ東原、うね女民謡同好会(竹の子会)、采女体操クラブ、ふれあいいきいきサロン”うね女”、采女が丘ラジオ体操と茶話会、北小松町グランドゴルフ同好会、ふれあいいきいきサロンひいらぎ、はぎがおカフェ、ゆうあいクラブ、イキイキサロン、スマイル、カフェサロンうつべ	24
32	河原田	256 回	4,873 人	いきいきサロンあすなろ会、いきいきサロン貝塚町、いきいきサロンオレンジ、おしゃべりカフェかわらだ、楽しみ広場 3 日会、ほっとサロンオレンジ、いきいき百歳体操大治田、いきいき百歳体操あすなろ、リバーサイド、モリモリマンデー、百歳体操オレンジ、貝塚百歳体操、いきいき内堀	13
33	楠	146 回	3,327 人	栄町街角くらぶ、錦町・昭和町街角くらぶ、南本町街角くらぶ、旭町街角くらぶ、幸町Ⅱ区街角くらぶ、幸町Ⅱ区カフェサロン、吉崎ふれあい街角くらぶ、街角カフェ、開栄町お達者クラブ、七草会、東本郷わいわい会、高齢者会議、旭町いきいきふれあいカフェ、憩いのサロン、新浜町街角の集い、新町シニアサロン	16

合 計 20,038 回 297,005 人

576

28 年度 16,512 回 249,535 人

467

(2) 地域コミュニティの推進

地区民生委員児童委員協議会への参画等をととして、各地域の社会資源や福祉課題の整理を行った。

①生活支援コーディネーター

市域の生活支援コーディネーターと3つのブロックに生活支援コーディネーターを配置し、地域包括ケア実現に向けて、拠点事業及び地域ケア会議への出席等を通じて地域組織化事業を実施した。住民主体サービス団体の組織化と事業展開について各地域で提案しコーディネートを行った。

年 度	関係機関への スーパーバイズ・連携	各種会議への出席	調査業務	地域社会づくり 推進事業
29 年度	1, 324件	438件	13件	218件
28 年度	1, 403件	189件	4件	87件

②四日市市小地域福祉活動事業（拠点事業）の実施

地域包括ケア事業の実施に向けて、拠点を活用したモデル事業を実施した。

（ア）北地域拠点「よってこ家」（富田地区）

協力員 30 名を中心に毎週金曜日に地域の交流拠点として「カフェサロン」と四日市市ボランティアセンターと連携した取り組みであるボランティア講座「まなびや」を開催した。

運営委員会や協力員のつどいを開催し地域拠点の在り方について検討をすすめた。

年 度	年回開催日数	開催延べ人数	一日平均参加人数
29 年度	49日	2, 845人	50. 7人
28 年度	44日	2, 961人	67. 2人

（イ）下野地域拠点事業

平成 28 年 4 月から下野活き域ネットと協定を結び、住民参加型福祉サービスを協働実施。

下野活き域ステーションを共同事務所として整備し、平成 29 年度 4 月から総合事業（訪問 B、通所 B）の実施を行った。総合事業の先進モデル事業として視察の受け入れや講師派遣等を実施した。

視察受け入れ：八郷、羽津、桜、県、大矢知、河原田などの地域から 16 団体

（ウ）神前地域拠点事業

神前地区（高角町矢合）の倉庫を無償で借受し、地域後見サポート事業や日常生活自立支援事業等で支援を行っている生活困窮者に対して、電化製品等を提供する生活困窮家庭支援・リユース事業の拠点とした。

③ふれあいいきいきサロン推進事業及び住民主体サービスの推進

介護予防事業の取り組みとして、ふれあいいきいきサロン事業の調査研究を行った。また、介護保険制度改正に伴うふれあいいきいきサロン事業への支援策への円滑な移行に対する理解と対応ができるように各地区、各種サロンごとにコーディネートを実施した。

（ア）ふれあいいきいきサロン連絡会の開催・・・31 地区 52 回

（イ）住民主体サービス団体連絡会議の実施

開催日等	内 容	参加団体
6 月 2 日（金） 総合会館 7 階 第 3 研修室	市介護・高齢福祉課からの情報提供 意見交換会	8 団体 16 名
9 月 15 日（金） 総合会館 8 階 視聴覚室	講演会①「助けあい活動について」 金城学院大学 専任講師 柴田 学 氏 講演会②「明日から役立つレクリエーション」 意見交換会	12 団体 59 名
11 月 17 日（金） 総合会館 8 階 第 4 会議室	市介護・高齢福祉課との意見交換会 ・事業実施における課題の共有	10 団体 18 名
3 月 26 日（金） 四日市看護医療大学	住民主体サービススタッフ向け 「住民参加型の外出支援の考え方について」 北勢地区福祉有償運送運営協議会 委員 松永 浩 氏	10 団体 40 名

④四日市市福祉教育大学

(ア) 四社協福祉ゼミナールの開催

福祉の考え方の基本視点を見つめなおす機会・福祉の最新情報や専門知識を学ぶ場として開講し、ふだんのくらしのしあわせについて考える市民（福市民）の養成を行った。また、福祉協力員の研修の機会も兼ね、興味のある講座のみの参加も可能な形で実施。全体で58名の参加があり、福市民として51名が登録した。

開催日	内 容	参加者
9月18日（月祝）	「団塊・シニア世代が、主体的に学習&社会貢献することの意義」 大阪教育大学 教授 新崎 国広 氏	43人
10月16日（月）	「総合事業をこれからどのようにすすめていくか？」 カフェサロンの活動から考える・・・四日市市社会福祉協議会 職員	36人
11月20日（月）	「地域包括ケア・・・四日市に求められる活動とは・・・」 三重短期大学 准教授 武田 誠一 氏	42人
12月18日（月）	「CSWと協働で実践している地域での助け合い活動 実践者報告」 羽津地区さろん de シデガノ 代表 渡辺 房之 氏	18人
1月15日（月）	「今地域で求められている活動(市民活動・ボランティア)とは」 日本福祉大学 教授 村上 徹也 氏	35人
2月19日（月）	福市民のつどい 「生涯学習から市民福祉活動へ ～ゼミナールでの学びを実践につなげよう」 大阪教育大学 教授 新崎 国広 氏	34人

(イ) 地域福祉ゼミナールの開催

福祉協力員等が組織化されている13地区全てで、地域の福祉課題の共有と解決策を見出すことを目的に座談会を開催した。

(ウ) 専門ゼミナールの開催

開催日等	内 容	参加者
2月22日（木） 3月1日（木）	生活支援講座 認知症や障害等から判断能力が低下した方々の生活をサポートする福祉の担い手になってみませんか？ （有）With A Will 代表 市川 知律 氏 上野法律事務所 弁護士 米田 義弘 氏 心療センターひなが 相談員 後藤 敦子 氏 山脇胃腸科内科神経内科 医師 山脇 崇 氏	37人
3月26日（水） 四日市看護医療大学	ふれあいいきいきサロンスタッフ向け 「介護予防、いつまでも元気に暮らそう」 四日市看護医療大学 教授 豊島 泰子 氏	77人
3月26日（水） 四日市看護医療大学	住民主体サービススタッフ向け 「住民参加型の外出支援の考え方について」 北勢地区福祉有償運送運営協議会 委員 松永 浩 氏	38人

(エ) なるほど出前講座の開催

福祉に関する情報や制度についてわかりやすく情報発信するしくみとして、出前講座を開始した。

【開催 63回 人数3,015名（28年度：35回 1,374名）】

No	開催日	主催	内 容	人数
1	4月2日（日）	笹川6丁目自治会	ふれあいネット笹川東 説明会	20名

2	4月2日(日)	笹川2丁目自治会	ふれあいネット笹川東 説明会	20名
3	4月17日(月)	四日市看護医療大学地域看護学科	地域看護活動論(地域診断)	50名
4	4月23日(日)	手をつなぐ育成会	親亡き後を考える	100名
5	4月23日(日)	笹川1丁目自治会	ふれあいネット笹川東 説明会	20名
6	4月24日(月)	四日市看護医療大学地域看護学科	下野地区・富田地区 地区踏査①	50名
7	5月1日(月)	四日市看護医療大学地域看護学科	下野地区・富田地区 地区踏査②	50名
8	5月20日(土)	いぐらふれあいの会	ご存知ですか?地域包括ケアシステム	100名
9	5月22日(月)	笹川8丁目自治会	ふれあいネット笹川東 説明会	20名
10	5月29日(月)	下野活き域ネット	地域福祉について	19名
11	5月31日(水)	やさにしスマイルネット	ボランティア講習&説明会	20名
12	6月5日(月)	常磐地区民児協	障害者にかかわる権利擁護	15名
13	6月15日(水)	共同地区福祉協力員会	地域福祉ゼミナール	10名
14	6月15日(水)	三重地区社会福祉協議会	福祉協力員研修会	40名
15	6月17日(土)	西朝明中学校	防災@にしあさけ2017	450名
16	6月20日(火)	大矢知地区社会福祉協議会	福祉協力員研修会	32名
17	6月24日(土)	桜地区社会福祉協議会	介護予防・日常生活支援総合事業について -地域包括ケアシステムの必要性-	80名
18	6月24日(土)	四日市大学	防災士講座	50名
19	6月28日(水)	市立四日市病院ボランティアふれあいグループ	ボランティアワンランクアップ講座	25名
20	7月3日(月)	ユマニテク医療福祉大学校	Let's ボランティア ふみだそう はじめの一步	25名
21	7月12日(水)	北地域包括支援センター	高齢者の権利擁護業務-日常生活自立支援事業と成年後見サポート事業-	35名
22	7月17日(月)	蒔田なかよしサロン	蒔田なかよしサロン イベント	15名
23	7月23日(日)	オヤコレ実行委員会(UDほっとねっと)	住み慣れた地域で暮らしていくための相談窓口	200名
24	8月19日(土)	八郷西社会福祉協議会	福祉講演会	27名
25	8月30日(水)	市立四日市病院ボランティアふれあいグループ	ボランティアワンランクアップ講座	25名
26	9月1日(金)	鹿島建物総合管理株式会社	防災対策について	62名
27	9月10日(日)	中央地区社会福祉協議会	中央地区ふれあいの集い	150名
28	9月11日(月)	虹の会(婦人会)	地域福祉について	30名
29	9月13日(水)	四郷地区市民センター	もしものときの金銭管理!	50名
30	9月29日(金)	介護・高齢福祉課	住民主体サービス研修会	35名
31	10月1日(日)	桜地区社会福祉協議会	地域力アップ講座「咲楽」	50名
32	10月7日(土)	虹の会	地域福祉について	20名
33	10月12日(木)	四日市市民児協連合会	高齢者の公的支援	180名
34	10月15日(日)	常磐地区人権・同和教育推進協議会	高齢者の住みよいまちづくり	15名
35	10月16日(月)	虹の会	地域福祉について	30名
36	10月21日(土)	常磐地区人権・同和教育推進協議会	高齢者の住みよいまちづくり	20名

37	10月28日(土)	常磐地区人権・同和教育推進協議会	高齢者の住みよいまちづくり	21名
38	10月30日(月)	西部地域民児協	これからの民生委員児童委員活動	124名
39	11月1日(水)	名古屋市立大学	現代社会と福祉	97名
40	11月2日(木)	あさひっこ地域カレッジ同窓会	知っておきたい福祉制度	60名
41	11月10日(金)	常磐地区人権・同和教育推進協議会	高齢者の住みよいまちづくり	30名
42	11月12日(日)	橋北(西)福祉協力員	地域福祉活動に関すること	10名
43	11月15日(月)	虹の会	内部地区福祉講座	50名
44	11月17日(金)	神前地区社協福祉部	福祉部員、福祉協力員研修会	28名
45	12月2日(土)	桜地区社会福祉協議会	地域力アップ講座「咲楽」	50名
46	12月3日(日)	県立北星高校	災害とボランティア	16名
47	12月7日(木)	県立北星高校	災害とボランティア	2名
48	12月8日(金)	健康づくり課	ステキ健康サポーター養成講座	50名
49	12月13日(水)	塩浜七つ屋自治会	地域福祉について	35名
50	1月14日(日)	海蔵地区福祉協力員	福祉講座	20名
51	1月19日(金)	常磐地区自治会	地域包括ケアについて	30名
52	1月21日(日)	市危機管理室	防災大学「ボランティア運営について」	30名
53	1月24日(水)	四日市障害福祉圏域自支協 委託相談支援事業所連携会 議	地域包括ケア研修	30名
54	2月9日(金)	市人権センター	人権文化まちづくり担当職員研修	8名
55	2月15日(木)	共同地区福祉協力員会	地域福祉ゼミナール	10名
56	2月17日(土)	富田地区社協福祉部会	災害ボランティアについて	30名
57	2月26日(月)	下野活き域ネット	福祉について	20名
58	2月28日(水)	市立四日市病院ボランティ アふれあいグループ	ボランティアワンランクアップ講座	25名
59	3月13日(火)	八郷西社会福祉協議会	認知症サポーター養成講座	19名
60	3月19日(月)	下野活き域ネット	福祉について	20名
61	3月27日(火)	介護・高齢福祉課	基準緩和サービス・住民主体サービス従事 者研修会	20名
62	3月28日(水)	市立四日市病院ボランティ アふれあいグループ	ボランティアワンランクアップ講座	25名
63	3月30日(金)	中央地区社会福祉協議会	地域福祉ゼミナール	15名

⑤社会福祉相談援助実習

社会福祉士を目指す学生の相談援助実習を1名受け入れた。

⑥防災・災害支援事業

(ア) 災害ボランティアセンター推進事業

四日市市社会福祉協議会災害ボランティアセンター運営マニュアルに基づき、災害ボランティアセンターを設置する工程の確認及び、運営マニュアルの見直しと設置に向けた準備物の整備を行った。また、災害ボランティアセンター設置運営に関する出前講座や訓練を実施し、市民理解の増進に努めた。

開催日	講座名	開催内容
6月17日(土)	防災@にしあさけ2017	防災訓練、災害ボランティア講座
6月24日(土)	四日市大学防災士講座	災害ボランティア講座、設置運営訓練
9月1日(金)	鹿島建物総合管理株式会社 防火・防災対策訓練	災害ボランティア講座
9月10日(日)	市民総ぐるみ総合防災訓練	災害ボランティアセンター啓発
11月26日(日)	内部地区防災訓練	災害ボランティア設置訓練
1月21日(日)	防災大学	災害ボランティアセンター運営について
2月17日(土)	富田地区防災講座	災害ボランティア講座
2月21日(水)	四日市市社会福祉協議会BCP訓練	BCP訓練、緊急対策会議等訓練

(イ) 災害ボランティア派遣事業

被災地で活動する災害ボランティアの登録を行うとともに、本会主催で災害ボランティアバスを企画し、被災地への災害ボランティアの派遣を行った。

- ・災害ボランティア活動登録者・・・90名
- ・災害ボランティア保険加入者・・・343名

派遣期間	派遣先・内容	派遣及び参加者
10月25日(水)	三重県伊勢市・先遣隊被災地調査	職員2名
10月27日(金)	三重県伊勢市・四日市市社会福祉協議会災害 ボランティアバス	学生・社会人14名、市職員1名、 市社協職員4名

(ウ) 広域災害ボランティアセンター強化事業

近隣市町3市3町(四日市市、鈴鹿市、亀山市、川越町、朝日町、菰野町)が大規模災害時に協力体制が取れるように、運営マニュアルや様式の調整を行うとともに、それぞれの市町の特性に合わせた連携体制が取れるように情報共有や訓練を行った。

開催日	内 容
7月10日(月)	三河鈴鹿地区災害ボランティアセンター広域連携強化会議
8月30日(水)	三河鈴鹿地区災害ボランティアセンター広域連携強化会議
11月16日(木)	三河鈴鹿地区災害ボランティアセンター広域連携強化会議
12月17日(日)	三河鈴鹿地区災害ボランティアセンター設置訓練
12月18日(月)	行政とNPO・ボランティア等との連携・協働研修会
2月14日(水)	三河鈴鹿地区災害ボランティアセンター広域連携強化会議
3月15日(木)	三重県受援体制整備に向けた活動実験における全体会議

(3) 包括的な相談窓口の設置

成年後見制度や権利擁護事業に関わる相談のみでなく、制度の狭間で支援の行き届かないケース等に柔軟に対応できる専門の相談担当職員を配置した。相談窓口の一本化を図り、包括的な相談窓口を設置し、複数の関係機関につなぐプラットフォーム的な役割を担った。また、支援機関につなげるための支援「つなぎ支援」を実施。制度の隙間に対応できるように研究をすすめている。相談件数は年々増加傾向であり新規相談の担当職員が毎日対応に追われている。相談内容は多様化と多問題化しており他職種な関係者との連携が求められている。

●包括的な窓口相談

年 度	新規相談件数
29年度	559件
28年度	557件

●つなぎ支援相談対応内訳

年 度	訪 問	電 話	来 所	その他	合 計
29 年度	2, 856件	2, 908件	406件	1, 942件	8, 112件
28 年度	1, 712件	3, 030件	320件	1, 490件	6, 552件

①成年後見サポートセンター

(ア) 調査研究事業

包括的な相談窓口における困難事例として、病院入院や施設入所の際の身元保証や緊急連絡先への対応が課題となっている。しかし、既にこれら身元保証等への先駆的な取り組みを実践している社会福祉協議会もあり、四日市市における必要性和事業化に向けた検討に着手した。

・事業調査研究会の実施

調査研究委員：学識経験者、法律家、医療関係者、施設関係者、在宅介護支援センター、行政職員で構成

調査研究会の実施

日程・期間	内 容
4 月 28 日 (金)	第三回 調査研究委員会 ・医療行為における本人の意思確認の方法 ・新サービスの利用料の設定
7 月 25 日 (火)	第四回 調査研究委員会 ・医療行為における本人の意思確認方法 ・容態急変時の対応
12 月 11 日 (月)	第五回 (最終回) 調査研究委員会 ・新サービスの概要検討

(イ) 権利擁護の啓発の機会の実施 (調査研究会報告)

・専門職向け身元保証等に関する研修講座の実施

在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所の相談員向け講座として福祉に関する法律的な事例をもとに権利擁護の勉強会を実施した。

開催日時：平成30年2月24日 (火) 10時～

開催場所：あさけプラザ

講師：熊田法律事務所 弁護士 熊田 均 氏

参加者・・・44 人 (在宅介護支援センター職員、ケアマネジャー等)

(ウ) 相談対応内訳

年 度		訪 問	電 話	来 所	代行等	合 計
29 年度	相談支援	300件	290件	120件	416件	1, 126件
	後見人支援	0	8件	21件	8件	37件
28 年度	相談支援	210件	330件	38件	158件	736件
	後見人支援	10件	17件	17件	5件	49件

②地域後見サポート事業

市や福祉・司法関係機関との連携を図り、市民からの成年後見制度に関する相談や成年後見制度を必要とする人々の支援を行う事業を実施した。

年 度	支援実人数
29 年度	401人
28 年度	345人

・法人後見受任

地域後見サポート事業運営委員会を設置し、専門職後見人の選任が難しいケースなどの法人後見人を受任した。課題を多く抱えるケースや後見人が不足した際のセーフティーネットとして、法人が後見人となり、市民と後見活動を協働できる仕組みの検討をすすめる。

内 容	件 数
受任支援	13件(内、2件終了)

③福祉総合相談事業

関係機関との連携を図り相談事業の充実に努めた。

- ・開設場所…市総合会館 2階 福祉総合相談室
- ・開設日 …月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時15分(年末年始、祝祭日を除く)
- ・相談件数…82件

相談方法	電 話	来 所
件 数	60	22

相談事項	暮らし・住まい	家 族	健康・医療	人権・法律	教育・福祉	その他
件 数	46	21	45	5	53	13

※相談事項は重複

④三洲日常生活自立支援センター

三重県社会福祉協議会の委託を受けて、判断能力に不安があり、契約内容を一定程度理解できる高齢者や知的・精神障害者等を対象に福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理、書類等の預かりなどの支援を行った。新規契約件数は85件となっている。

所長1人、専門員7人、事務補助員1人、生活支援員48人(四日市市40人、川越町6人・朝日町2人)体制で行政、民生委員児童委員や在宅介護支援センター等と連携を図り、事業を展開した。

また、生活支援員の資質向上を図るため、生活支援員研修会を開催するとともに、三重県社会福祉協議会主催の研修会へ参加した。

(ア) 相談件数…8,765件(年間)

相談対象別件数(件)及び割合(%)

認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合 計
3,119 (35.6)	1,607 (18.3)	3,681 (42.0)	358 (4.1)	8,765 (100)

※相談件数は、専門員及び推進員が利用者や市民等から相談を受け支援を行った件数

(イ) 契約締結件数推移(件)

年 度	新規契約件数	契約解除件数	年度末契約件数
29年度	85	67	404
28年度	95	72	386

(ウ) 平成29年度末実績

a 生活支援員の派遣状況(件)

週に1回	隔 週	月に2回	月に1回
195	60	73	76

b 利用料負担状況（1回1,000円）

有料	無 料
77件	327件(生活保護受給者…192件、住民税非課税者…135件)

c 市町別契約件数内訳（件）

四日市市	朝日町	川越町	その他
384	4	13	3

d 契約対象内訳（件）

認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他
178	79	133	14

e 延支援回数（回）

生活保護	非課税	非課税(有料)	課 税	計
7,002	4,084	1,369	673	13,128

※非課税（有料）：住民税非課税者で預貯金200万円以上の利用者

(エ) 生活支援員研修会の開催・参加

a 四日市市社会福祉協議会主催

日時 平成30年3月28日(水) 13時30分～15時00分

目的 生活支援員の資質向上を図る。

参加 8名

内容 講義 「支援に伴う事務処理について」

講師 四日市市社会福祉協議会専門員

b 三重県社会福祉協議会主催

日時 平成29年11月9日(木) 13時30分～16時10分

目的 利用者との関係づくりや援助技術の向上を図る

参加 14名

内容 ①講義 「利用者との関係づくりと支援方法について」

講師 三重大学病院 基幹型認知症疾患医療センター 川北 澄江 氏

②パネルディスカッション 「支援のあり方を考える」

パネリスト 桑名市社会福祉協議会職員

鳥羽市社会福祉協議会職員

⑤生活困窮家庭支援、リユース事業

生活困窮家庭に対する生活用品の貸与等をすすめるリユース事業を実施した。関係している利用者から不要で利用可能なものをお預かりし必要な方にお渡しする仕組みで実施。神前地区拠点倉庫にしてマッチングをおこなった。

企業の社会貢献活動との協働事業として、当会独自のフードバンク事業を試行した。企業から提供いただいたカップ麺やお米等を地域後見サポート事業や日常生活自立支援事業等で支援を行っている生活困窮家庭に提供し、生活の再建に役立てた。

内 容	おもな内訳	件数
カップ麺やお米等の食 材提供	お米:129kg、パックごはん:46パック、レトルトカレー:159袋、カッ プ麺:14個、缶詰:210缶、備蓄用パン:22セット、麺類:65袋 等	65件
生活物品	炊飯器、掃除機、洗濯機、テレビ、電子レンジ等	12件

【ふれあいのまちづくり事業 まとめ】

地域の福祉活動の推進機関として各地区社会福祉協議会を位置づけて地域福祉活動をすすめるとともに、各地区における地区社協役員会や企画実行委員会、市内を3つのエリアにわけた地区社協ブロック会議、在宅介護支援センターと連携した地域ケア会議などの協議体を通じて情報提供や課題の把握に努めた。

ふれあいいきいきサロン推進員は、各グループへの情報提供や新たな協議体としての課題の共有や新たな活動の構築にむけた意見交換の場として、ふれあいいきいきサロン連絡会を31地区で52回開催した。ふれあいいきいきサロンは、前年度末より109グループ多い576グループで年間延べ人数297,005人が参加され、地域における介護予防活動の取り組みとして広がってきている。

生活支援コーディネーターは、3つのブロックに配置され、地域包括ケア実現にむけて拠点事業及び地域ケア会議への出席等を通じて地域組織化事業を促進した。各地区の協議体においてスーパーバイズを実施し、住民主体サービス団体の立上げと安定した事業継続のための支援を行った。

地域拠点では、住民参加型福祉サービスを協働実施し、総合事業（訪問B、通所B）の実施のモデル事業として視察の受け入れや講師派遣等を行った。

福祉教育大学では、四社協福祉ゼミナール、地域ゼミナール、専門ゼミナールの3つのカテゴリで福祉人材の養成及び研修の機会を作り福祉人材の養成を行った。

包括的な福祉総合相談窓口として、制度の狭間や支援者がいない方の支援体制として「つなぎ支援」を実施した。福祉関係機関と協働で調査研究会を実施し、身元保証等の新しいセーフティーネットの体制作りやとして調査研究会を実施、仕組みの必要性和事業化に向けた検討を行った。また、四日市市社会福祉協議会独自の生活困窮家庭への生活再建にむけての支援としてフードバンク（食材提供）やリユース事業（家電製品の貸与）などを行った。

各地区民生委員児童委員協議会へ定例会議に参画し、民生委員児童委員が取り組む高齢者、障害者（児）への支援、「地域子育てネット0～6会議」をはじめとする子育て支援活動等で明らかになった各地域の社会資源の把握や福祉課題の解決に向けた活動に対する支援を強化した。

引き続き、各地域の福祉課題解決に向けて、地区社協、民生委員児童委員、在宅介護支援センター、ボランティアなどとコミュニティソーシャルワークを強化していく。

2. 福祉ボランティアのまちづくり事業

ボランティアセンターでは、市民相互の助け合いによる福祉のまちづくりを目的として、市民がボランティア活動に参加するために必要な啓発活動、学習や活動の場、各種ボランティアに関する最新情報を提供するとともに、ボランティアグループや個人ボランティアへの活動支援などに取り組んだ。

（1）相談援助業務

①ボランティアに関する相談及びコーディネート業務

ボランティアに関する相談への対応や、ボランティアを必要としている人とボランティア活動を希望している人や活動中の人を実際の活動につなげるコーディネートを行った。

●ボランティアに関する相談・調整

相談・調整先	件数
市民、関係機関等	556件

●コーディネート実績

年 度	依頼件数	派遣件数	派遣人数	派遣団体数
29年度	148件	123件	293名	44団体
28年度	111件	83件	277名	30団体

(2) 情報収集と提供

①ボランティアニュース「ボランティアのたまご」の発行（月1回）

ボランティアに関する事業や情報を掲載し、毎月20日に発行した（発行部数約1,800部）。ボランティア団体や個人ボランティア、行政、一部企業等の各関係機関への送付や地域の掲示板への貼付などにより、ボランティア活動の周知に努めた。

②ボランティア団体会員募集一覧冊子の作成

ボランティアセンターに登録している団体のうち、会員募集をしている団体を活動分野別に冊子としてまとめ、ボランティア希望者へ情報提供を行った。

③ホームページの更新

ホームページ上に、ボランティアセンター事業やボランティア募集などボランティアに関する情報を掲載し、ボランティア活動の周知に努めた。

④フェイスブックの更新

若い世代を中心に普及しているフェイスブックの拡散性、即時性、滞留性の機能を活かしてボランティアセンターが開催する各種イベント事業の様子をはじめ、企画の段階から関わってもらったボランティアのみなさんの様子、各ボランティア団体の活動の様子などを発信し、ボランティア活動やボランティアセンターをより身近なものに感じてもらえるように努めた。

(3) ボランティアのきっかけづくり事業

①はじめてのボランティア説明会の開催

これからボランティア活動を始めたいという人を対象に、ボランティア活動に関する基礎知識の習得と実際の活動へのつながりを目的に開催した。開催日時は、より多くの人に参加してもらえるように、毎月3回、平日午前、平日夜間、休日午後とした。

月	開催日	参加者数	説明会内容
4月	11日(火) 18日(火)	12名	<全体説明> ①市社協&ボランティアセンターの概要説明 ②ボランティアについての学習 ③市内ボランティア活動状況 ④ボランティア活動保険の説明 ⑤ボランティア募集状況 他
5月	9日(火) 16日(火) 27日(土)	6名	
6月	6日(火) 13日(火) 24日(土)	5名	
7月	4日(火) 11日(火) 22日(土)	20名	
8月	1日(火) 8日(火) 19日(土)	8名	
9月	5日(火) 12日(火) 16日(土)	6名	
10月	3日(火) 28日(土)	5名	
11月	7日(火) 18日(土)	9名	
12月	5日(火) 12日(火)	8名	
1月	9日(火) 27日(土)	6名	
2月	6日(火) 17日(土)	4名	<個人対応> ①1対1で活動希望の聞き取り ②活動先との調整 ③見学への同行 ④活動中のフォロー
3月	6日(火) 13日(火) 24日(土)	22名	
年間	30日	111名	

②サマーチャレンジ2017の開催

高校生・大学生・専門学校生を対象に、夏休み期間を利用してボランティア活動をしてもらうことで、ボランティア活動の魅力を伝えとともにボランティア活動者の育成を図ることを目的に開催した。

開催日	活動内容	受け入れ施設・団体	参加者数 (延数)
6月22日(木) 7月13日(月) 15日(土) 27日(木) 8月1日(火)	事前説明会 ・自己紹介、ボランティアセンターから (活動の心得、保険、登録など) ・活動メニューの紹介 ・グループワーク (活動の期待等)	【開催場所】 市総合会館 県立四郷高校 ユマニテック医療福祉大学 四日市看護医療大学	100名

7月28日(金) 8月4日(金) 18日(金) 25日(金) 9月1日(金)	地域のつどいの場で子どもたちとふれあおう！(乳幼児との交流)	サロンよってこ家	21名
7月27日(木) 8月8日(火) 9日(水) 14日(月) 21日(月) 22日(火) 23日(水) 26日(土)	夏祭りなどを通して高齢者とふれあおう！(高齢者施設での話し相手・レクリエーション・夏祭りのお手伝い等)	四日市ユートピアハウス 介護老人保健施設 みえ川村老健 特別養護老人ホーム うねめの里	33名
7月24日(月) 28日(金) 31日(月) 8月14日(月) 21日(月) 25日(金) 28日(月)	障害のある子どもと素敵な思い出をつくろう！(児童デイサービスでの障害児との交流)	障害者福祉センター	18名
8月20日(日) 9月3日(日)	障害者スポーツと一緒に楽しもう！ 「ボッチャ」の体験	ボッチャサークル コロコロ四日市	18名
7月26日(水) 8月25日(金)	障害者スポーツと一緒に楽しもう！ 「サウンドテーブルテニス」の体験	エンジョイ SS ピンポン クラブ	15名
9月7日(木) 11日(月) 18日(土)	参加者交流会 ・活動紹介のパネル作成 ・ボランティアのつどいへの参加		12名

(4) 人育て(人材育成)事業

①地域福祉活動拠点でのボランティア講座

ボランティアに関心を持ち、身近な地域で活動する人を増やすことを目的に講座「ボランティアカフェまなびや」をサロンよってこ家で開催した。

開催日	開催内容	参加者数
4月25日(火)	はじめなきゃ！ 介護予防の新しい取り組み	27名
5月23日(火)	みんないっしょに！ ～よってこ家体操クラブ～	15名
6月27日(火)	簡単・ヘルシー・お菓子 ～電子レンジで作ってみよう～	11名
7月25日(火)	簡単・ヘルシー・お菓子 ～電子レンジで作ってみよう～Ⅱ	12名
8月22日(火)	よってこ家園芸クラブへようこそ ～おいしい野菜づくりのコツ知ってますか？～	6名
9月26日(火)	よってこ家園芸クラブへようこそ ～よってこ家で一緒においしい野菜を育てましょう～	8名
10月26日(木)	よってこ家DIY講座Ⅰ ～ベンチを作って ひなたぼっこ！	6名
10月31日(火)	よってこ家 園芸クラブ活動 ～一緒に育てた野菜 成長状況を確認しあおう！	6名
11月30日(木)	よってこ家 園芸クラブ活動 ～一緒に育てた野菜 成長状況を確認しあおう！	3名
12月19日(火)	よってこ家DIY講座Ⅱ ～看板作ってお知らせバッチリ！	8名
	よってこ家園芸クラブへようこそ ～一緒に育てた野菜 収穫祭しましょう～	5名

1月23日(火)	よってこ家手芸クラブ ～みんなでわいわい作りましょう！	7名
2月27日(火)	よってこ家手芸クラブ ～かぎ針を使って、一緒に作って楽しみましょう～	7名
3月27日(火)	よってこ家楽しい工作教室 ～春休み♪一緒に楽しもう！～	16名

②障害者スポーツボランティア講座の開催

東京パラリンピック(2020年)、三重県での全国障害者スポーツ大会の開催(2021年)を控え、障害者スポーツへの関心を高め、応援者を増やすことを目的に講座を開催。

開催日	開催場所	開催内容	参加者数
11月25日(土)	三重北勢健康増進センター 軽運動室	SSピンポン交流大会 【大会】 20ペアによる予選リーグ、決勝トーナメント戦 【交流・体験】 当日自由参加による体験・交流 ※住友電装株式会社との共催 ※四日市市制施行120周年記念市民企画イベント事業	74名
12月24日(日)	三重北勢健康増進センター 軽運動室 他	『障害者スポーツとは？ 障害のある人と関わるためには？』 (講師) 日本福祉大学 教授 藤田 紀昭 氏 『ボッチャを体験！』 (協力) ボッチャサークルコロコロ四日市	43名
1月20日(土)	三重北勢健康増進センター 軽運動室 他	『ボランティア論 ボランティア活動とは？』 (講師) 日本福祉大学 教授 村上 徹也 氏 『サウンドテーブルテニス・SSピンポン』 『SSピンポンを体験！』 (協力) エンジョイ SSピンポンクラブ	26名

③福祉教育推進事業・福祉教育への支援

(ア) 地域福祉教育推進(講師派遣)事業〔13校 24講座〕

子どもたちが地域の中で生活全般にかかわる「福祉」について学び、自分にできることを考えるきっかけづくりとなる福祉教育を推進するため、日常的に子どもたちと関わり、福祉教育を実践されている学校と協議をしながら、子どもたちにあった学習プログラムを作成した。

講師の紹介や調整、依頼やその経費については市社協が担う事業として実施した。

学校名	派遣した講師
県小学校	視覚障害者(エンジョイ SSピンポンクラブ)
内部東小学校	視覚障害者(エンジョイ SSピンポンクラブ)
海蔵小学校	視覚障害者(エンジョイ SSピンポンクラブ)
川島小学校	大阪教育大学教授(教職員向け福祉学習研修会)
	聴覚障害者
	視覚障害者(エンジョイ SSピンポンクラブ)
日永小学校	肢体障害者(ボッチャサークルコロコロ四日市)
	視覚障害者(エンジョイ SSピンポンクラブ)
八郷小学校	聴覚障害者
	視覚障害者(エンジョイ SSピンポンクラブ)
内部中学校	四日市市社会福祉協議会職員(「福祉の仕事」)
	四日市市社会福祉協議会職員(「福祉の仕事」)
橋北中学校	肢体障害者(ボッチャサークルコロコロ四日市)
	四日市市社会福祉協議会職員
楠中学校	四日市市社会福祉協議会職員(「福祉の仕事」)
	視覚障害者(エンジョイ SSピンポンクラブ)

笹川中学校	四日市市社会福祉協議会職員（「福祉・障害」）
	視覚障害者（エンジョイ SS ピンポンクラブ）
中部中学校	四日市市社会福祉協議会職員（「福祉・障害」）
	視覚障害者（エンジョイ SS ピンポンクラブ）
	肢体障害者（ボッチャサークルコロコロ四日市）
	四日市市社会福祉協議会職員
富洲原中学校	四日市市社会福祉協議会職員（「学習のふりかえり」）
	障害者家族
メリノール高等学校	四日市市社会福祉協議会職員（「福祉・福祉の仕事の魅力」）
	四日市市社会福祉協議会職員（「福祉の仕事」）
	肢体障害者（ボッチャサークルコロコロ四日市）

（イ）福祉教育への支援〔4校〕

地域福祉教育推進事業実施校以外の小学校・中学校・高等学校で、福祉教育に取り組んでいる学校等の相談に応じ、取り組み内容についての情報提供や福祉用具の貸出等を行った。

（5）活動支援（助成）事業

①外出援助サービス保険料助成事業の実施

外出困難な要援護者のニーズ対応と外出機会の拡大を目的として、医療機関などへの外出援助サービスを行っているボランティア団体等に対して、送迎サービス補償・ボランティア活動保険の各保険料の半額助成を行った。

〔助成団体〕 1. 桜ボランティア協会〔桜地区〕

2. ミニデイサービス「ともだちの和」〔桜地区〕

②ボランティア活動保険の加入促進

ボランティア活動中の事故に備えて、ボランティア活動保険の掛金の一部補助（一律一人 100 円）を行い、加入促進を図った。

ボランティア活動保険加入者 4, 3 1 5 名

また、ボランティア活動をされる団体等が安心して活動していただくためのボランティア行事用保険の窓口業務を行った。

ボランティア行事用保険加入件数 4 2 5 件

（6）協働事業

①四日市ボランティアキャンペーンの開催

ボランティア活動の啓発及びボランティア人口「ボラ友」の拡大を目的に、3月4日「**み**んなで

①よにボランティア」（キャッチフレーズ）を四日市市のボランティアの日とし、また3月4日～31日までを四日市ボランティアキャンペーン期間として、下記内容を実施した。

開催に伴い、企業 1 1 社の協賛や協力を得た。

●街頭PR活動 in ふれあいモール

開催日	開催場所	開催内容	参加者数
2月17日(土)	四日市駅前東口広場 ふれあいモール	街頭PR活動 ・ティッシュ、チラシ配り ・ゆるキャラと一緒に写真を撮ろう！	5名

●はじめてのボランティア説明会

開催日	開催場所	開催内容	参加者数
3月6日(火) 13日(火) 24日(土)	四日市市総合会館	・ボランティアに関する基礎知識 ・ボランティアの心がまえ ・ボランティア募集や活動紹介など	21名

●ボランティア体験活動メニュー

開催日	内 容	参加者数
3月7日(水)	ユニバーサルデザイン ミニ講座 〔協力団体：UDほっとねっと〕	5名
3月8日(木)	花木の植樹（垂坂公園でハナモモの木を植樹） 〔協力団体：緑の会羽津〕	5名
3月11日(日)	障害者スポーツ『ボッチャ』ボランティア （競技を知り、一緒に楽しみ、活動） 〔協力団体：ボッチャサークルコロコロ四日市〕	5名
3月14日(水)	傾聴ミニ講座 〔協力団体：傾聴同好会〕	12名
3月15日(木)	アルミ缶を使って『たんぼぼ』施設利用者と交流しよう （アルミ缶アート作成、アルミ缶ボーリング等） 〔協力施設：障害者自立支援施設たんぼぼ〕	9名
3月17日(木)	アルミ缶を使って『あおぞらワーク』施設利用者と交流しよう （アルミ缶アート作成、アルミ缶輪投げ等） 〔協力施設：社会福祉法人四季の里あおぞらワーク〕	11名
3月20日(火)	ボランティアニュースの封入作業（ボランティアニュース発送準備作業）	7名
3月28日(水)	障害者スポーツ『サウンドテーブルテニス』ボランティア （競技を知り、一緒に楽しみ、活動） 〔協力団体：エンジョイ SS ピンポンクラブ〕	7名

●ボランティアキャンペーン啓発及び体験活動メニュー企画運営委員会の開催
〔運営委員会〕

開催日	参加者	開催内容	参加者数
4月9日(月) 11月29日(水) 12月22日(金) 12月26日(火) 1月17日(水) 2月5日(月) 2月27日(火)	・ボランティア団体（4団体） ・学生関係（1校） ・個人ボランティア	①四日市ボランティアキャンペーン啓発や企画に関すること ②体験活動メニューに関すること ③活動の振り返り	35名

②ボランティアのつどいの開催

ボランティアセンター登録団体や個人ボランティアが一堂に会することによって、情報交換や交流を行い、団体同士または、団体や個人とボランティアセンターのつながりを強化することを目的に開催した。（実行委員会形式で開催）

開催日	開催場所	参加者	開催内容	参加者数
9月17日(祝)	四日市市文化会館第3、4ホール	・ボランティア団体 ・個人ボランティア ・一般参加	きく・みる・ふれる ボランティアのつどい 第3ホール 新崎ゼミ（四社協福祉ゼミナール第1回と合同開催） 第4ホール 活動紹介 市内のボランティア団体や活動者が集まり、活動紹介、パネル・写真展示、ボランティアカフェ等で交流	119名

〔実行委員会の開催〕

開催日	参加者	開催内容	参加者数
5月26日(火) 6月14日(水) 7月13日(木) 8月18日(金) 9月13日(水) 10月4日(水)	・ボランティア団体(5団体) ・学生関係(3校) ・個人ボランティア	①企画内容に関すること ②当日の運営等に関すること ③つどいのふりかえり	62名

③コーディネートを考える会議の開催

コーディネート業務の向上を図ることや新たなしくみづくりを構築していくことを目的とし、関係機関（ボランティアの送り出し機関、ボランティアの受け入れ機関、中間支援組織、学識経験者など）が集まり、よりよいコーディネートに向けて情報の共有や意見交換を行った。

開催日	参加機関	開催内容	参加者数
6月1日(木)	①ユマニテク医療福祉大学 ②作業所 来夢 ③障害者相談支援センター ソシオ ④三重県ボランティアセンター ⑤学識経験者	■今年度の取り組み ■個別ニーズへ対応について（今年度取り組み方向）	10名
9月21日(木)	①住友電装株式会社 ②よっかいち諸朋苑 ③障害者相談支援センター ソシオ ④三重県ボランティアセンター ⑤学識経験者	■個別ニーズへの対応についての意見交換（富田での取り組み・障害者スポーツを支える活動） ■事業の振り返り	10名
12月21日(木)	①住友電装株式会社 ②作業所 来夢 ③四日市ふるさとファーム ④障害者相談支援センター ソシオ ⑤三重県ボランティアセンター ⑥学識経験者	■個別ニーズへ対応についての意見交換（富田での取り組み・難病者と学生の交流・障害者スポーツを支える活動）	11名
3月23日(木)	①住友電装株式会社 ②作業所 来夢 ③三重県ボランティアセンター ④学識経験者	■個別ニーズへ対応についての意見交換と次年度の方向（富田での取り組み・難病者と学生の交流・障害者スポーツを支える活動・個別相談の現状から） ■次年度の取り組み	9名

④学生〔高校生・大学生〕ボランティア連携事業

現在、つながりのある学校とのさらなる顔の見える関係づくりを目的に、イベントや活動等を通して連携強化に努めた。

学 校 名	活 動 内 容
四日市看護医療大学	①サマーチャレンジ事前説明会の開催、活動メニューへの参加、ボランティアのつどいへの活動紹介掲示 ②ボランティアのつどい実行委員としての参画及び参加
ユマニテク医療福祉大学	①介護福祉学科1年生へのボランティア講座の開催 ②各種ボランティア活動への参加 ③サマーチャレンジ事前説明会の開催、活動メニューへの参加、ボランティアのつどいへの活動紹介掲示
三重県立四郷高校	①サマーチャレンジ事前説明会の開催、活動メニューへの参加 ②各種ボランティア活動への参加

中部中学校、港中学校、西笹川中学校、大谷台小学校、内部東小学校、川島小学校	四日市ボランティアキャンペーンへの参加・協力
---------------------------------------	------------------------

【福祉ボランティアのまちづくり事業 まとめ】

平成30年3月31日現在のボランティアセンターへのボランティア団体登録数は、181団体6,873名、また個人登録数は、147名であった。

登録団体の活動分野は、福祉分野を含め、多岐にわたっている。個人ボランティア登録者も活動状況はさまざまで、はじめてのボランティア説明会参加者も含め、状況に応じて登録や登録継続について確認している。また、今年度不測の事態が起こった時にスムーズに保険会社につなげられるよう、ボランティア行事保険加入についての団体の登録様式を整備した。

ボランティアコーディネートについては、相談支援管理システムの導入により、情報共有や対応がスムーズに進められるようになったが、依頼者側の「ボランティア」への理解や受け入れ状況については、双方で確認し合うべき点も多くある。まだまだ、ボランティアは“安価な担い手”的な依頼も多く散見されるため、今後も引き続き課題の一つとして取り組み、コーディネート力をアップしていきたい。

事業としては、昨年から実施している障害者スポーツボランティア講座の一環として、今年度は住友電装株式会社様と共同でSSピンポン交流大会も開催した。企業の方々も金銭的支援だけではなく、大会運営や競技に参加いただくなどCSR活動の一環として活動され、さまざまな方々とも交流いただくことができた。今後も2021年のとこわか大会へ向け、多くの市民の方々に障害者スポーツの魅力を知っていただき、障害者アスリートを応援する機運を高める事業を継続して取り組んでいく。

さらに、ボランティア活動に興味を持ち、身近な地域で活躍できる人を増やすことを目的に、福祉活動拠点での講座を開催した。今後もメニューや開催方法の工夫など地域での具体的な活動につながるよう、生活支援コーディネーター等と連携・調整しながら進めていく。

例年、期間（3月4日～31日）を設けた四日市ボランティアキャンペーンを実施し、ボランティアの啓発とボランティア人口の拡大を図っている。期間を設定し、アルミ缶回収をするイベントということが、関係者のなかでは定着してきており、広報前から声をかけていただける状況もある。また、学校・企業からも期間を通じてご協力いただいた。今年度は、運営委員の方々の協力も得ながら検討し、アルミ缶を通して施設利用者と交流し、アート作成の活動をするなど、体験や交流のできるメニューを企画した。参加者からは、初めてで不安もあったが楽しい経験ができた、今後も活動したいといった意見も多くいただいた。従来課題であった、運営委員の方々の負担軽減や、団体の仲間を増やせたなど、イベントとは違う満足感も得ていただけたと感じている。

また、高校生、大学生、専門学校生を対象にした、夏休み期間中のボランティア体験プログラム（サマーチャレンジ）を昨年に続いて実施した。ボランティアの魅力を伝えるとともに、ボランティア活動者の育成を図ることを目的にしている。今年度は、事前説明会を学校で開催させていただいたことで参加者の増加や継続的に活動に参加する学生も増えた。今後も引き続き、多くの学生の参加が得られるよう企画の充実をはかりたい。

事業実施の他、ボランティアセンターの重要な業務のひとつであるコーディネートのより充実を図るために、コーディネートに関わる関係機関が集まってコーディネートを考える会議を開催し、ボランティアに関する課題の抽出や情報交換・情報共有を行い、これからの方向や進め方についてアドバイスをいただいた。さらに、企業や学校との連携を、ホームページの充実や顔の見える関係づくりをさまざまな事業や機会を通して図っていききたい。

3. 福祉施設の管理運営

(1) 中央老人福祉センター

施設の市民利用に供するほか、民踊、水墨画、大正琴教室を開催するとともに看護師を配置し、機能回復訓練及び健康相談などに応じるとともに毎日健康体操をして高齢者の健康管理に努めた。また、利用者ニーズに基づき、いきいき体操、音楽会を開催した。さらに三重県警に協力を得ながら交通安全や振り込め詐欺を未然に防ぐための啓発を行った。

・健康相談日数 245日 ・延人数 7,595名 ・1日平均 31名

【利用状況】

年 度	団体利用数		一般利用数	計	一日平均	開館日数
29年度	313団体	4,828名	28,261名	33,089名	111名	297日
28年度	324団体	5,582名	31,540名	37,122名	125名	296日

(2) 母子・父子福祉センター（指定管理施設）

母子家庭及び寡婦の経済的・精神的負担を軽減し、生活の安定と自立を促進するため、各種相談や技能習得講座を実施した。今年度から履歴書の書き方講座を新設した。また、趣味を通じての生きがいやふれあいづくりを目的としてサークルを支援した。

・相談件数 867件 （28年度相談件数 470件）

【技能習得講座・サークル実施状況】

講座・サークル名	回 数	延人数
技能習得講座		
・ パソコン	12回	61名
・ 飾り巻き寿司	1回	17名
サークル		
・ 書 道	24回	324名
・ 手 芸	24回	129名
・ ちぎり絵	12回	63名
・ 編み物	24回	190名
・ 和 裁	35回	106名
・ リフォーム	24回	152名
合 計	156回	1,042名
28年度	152回	1,031名

(3) おもちゃ図書館

障害の有無に関わらず、子どもたちが「おもちゃ」を通じて、情操や知的・身体的機能を高め、ふれあうことや、おもちゃ図書館や移動おもちゃ図書館へ来館する親の子育て支援を目的とし、おもちゃ図書館ボランティア「よっちゃんグループ」の協力を得て運営を行った。

●おもちゃ図書館利用実績

	29年度（※）	28年度
児 童	4,162名 (障害児 94名)	4,629名 (障害児 61名)
保 護 者	3,748名	4,037名
利用者合計	7,910名	8,666名
年間開館日数	214日	224日
1日あたりの利用者数	36名	39名

(※ 29年度については、移動おもちゃ図書館、おもちゃ図書館まつりを含まない。)

●団体利用実績〔18回〕

種 別	施設名	回 数	延べ利用者数
四日市市児童発達支援センター	あけぼの学園	16回	165名
四日市障害児デイサービス	すまいる四日市きた	2回	11名

●移動おもちゃ図書館〔8回〕

実 施 日	種 別	利用者数
4月19日(水)	下野中央保育園 子育て支援センター	54名
5月10日(水)	あがた保育園 子育て支援センター	19名
8月9日(水)	塩浜こども園 ひまわり	30名
9月13日(水)	三重地区民児協子育て支援	78名
10月4日(水)	神前地区民児協子育て支援	30名
12月13日(水)	橋北子育て支援センター ぽっぽ	51名
2月21日(水)	八郷西保育園子育て支援	32名
3月7日(水)	笹川保育園子育て支援	51名
	合 計	345名

●おもちゃ図書館まつり

実施日 平成29年 7月27日(木)

場 所 四日市市文化会館 第4ホール

参加数 281名(乳幼児161名、大人120名)

内 容 魚つり・ボーリング・まとあてなど体を使って遊べるコーナー、乳幼児向けのおもちゃコーナー、手づくり布絵本コーナーなどの各種コーナーの設置と、ボランティアによる手づくり人形劇『大きなかぶ』の開催。

福祉支援課

市民の求める多様な福祉ニーズに対応するため、障害者自立支援事業、福祉施設管理運営事業、介護保険事業等を実施し、利用者本位の福祉サービス提供に努めた

1. 障害福祉支援室

(1) 障害者自立支援施設「共栄作業所」(指定管理施設)

「共栄作業所」は障害者自立支援法で定められた新事業体系への移行を平成23年4月に実施し、就労継続支援B型事業所として7年目を迎えた。当作業所は、一般の事業所に雇用されることが困難な利用者に対し、生産活動・その他の活動をとおしての仲間づくりや生活面での自立を目指して支援を行った。また、受注作業や自主製品作業に取り組むとともに、利用者の高齢化・障害の重度化が進行する中で、個々の能力や身体機能に見合った作業と生活の支援を行うことで、心身ともに充実した日々が送れるように努めた。

さらに、利用者が地域で充実した生活を送れるよう、保護者会（NPO法人）が、主体となって取り組んできたグループホーム「クローバーの家」、「しらとりホーム」、「第2クローバー」の運営についても、グループホーム担当者会議等へ参画し、連携を図った。

利用者数35名（定員37名）

活 動	内 容
自主製品作業	さをり織り作業、縫製作業
受 注 作 業	リサイクル解体作業、封筒点字刻印作業、贈答品箱詰め作業、段ボール組み立て作業、農耕関連作業、割箸の袋入れ作業、段ボール製品穴あけ作業、紙製品加工作業、木工製品加工作業
実 習	目的別社会実習（買物・ボウリング等）サークル活動（リズムダンス、カラオケ、ドライブ、町に出よう）
社 会 体 験	即売出店、社会・工場見学、さをり織り展示会
運動・レクリエーション	散歩、余暇活動、体操、音楽鑑賞、ミニ運動会、カラオケ大会、ボランティア交流会

- ・自主製品の販売促進のため、地区文化祭などの各種即売に積極的に参加した。また、常時、製品の展示・販売を常設の店舗で行った。
- ・市主催じんけんフェスタで展示即売会を行い、さをり織り体験も実施した。
- ・四郷文化祭ふるさとまつり、四日市萬古まつり（春、秋年2回）のイベントなどに参加し、当事業所のPRと併せて啓発活動を行った。
- ・第9回目の「さをり織り展示会」を昨年に引き続き作業所で開催し、さをり織りのPRと販売の拡大に努めた。
- ・個人、団体ボランティアとの連携を図り、作業への協力や、地域交流会(ミニ運動会)、ボランティア交流会(カラオケ大会)をとおして利用者との交流促進をした。
- ・実習生、見学者を受け入れ、利用者との交流や障害者理解の促進、福祉体験の場を提供した。平成29年度は教員免許介護等体験2人、四日市市新規採用職員24人、笹川中学校4人の受け入れを行った。また、西日野にじ学園の進路実習として1人受け入れを行った。
- ・昼の休憩時に遠出の散歩などによる体力づくりに努めるとともに、利用者の健康状況に合わせた食事の提供を行った。
- ・地域に根ざした施設運営を図るため、地域住民、保護者代表等で組織する「施設サービス運営委員会」を定例的（年3回）に開催した。
- ・全国社会福祉協議会セルフ協の承認を受けた「幻のなたね油」の販売を継続し、農耕関連作業による就労支援活動の充実を図った。
- ・利用者へのサービスの質の向上を図るため、みえ福祉第三者評価の受審結果に基づく施設運営を行った。
- ・毎月1回地震または火事の発生を想定し、避難訓練を行い、災害時の行動・対応について及び危機管理意識の向上を図った。

- ・不審者対応訓練を年2回（10月、3月）に行い、いざという時の防犯の備えとした。
- ・別館（第三作業室）及び本館（第二作業室）の改修工事を行い、作業環境の整備を図った。

（２）障害者自立支援施設「たんぽぽ」（指定管理施設）

常時介護を必要とする重度の障害者に対して、利用者一人ひとりに応じた「個別支援計画」を作成し、排泄・食事等の介護や創作活動・生産活動の機会の提供のほか、身体機能や生活能力の向上のために必要な支援を行った。また、障害者の社会参加に重点を置き、地域住民との交流・社会体験の機会を多く設け、障害者福祉の増進を目指した。

さらに、利用者の重度化と高齢化による機能低下に対応して、家族や関係機関との連携を深め地域で豊かな生活が実現していくための支援を実施した。

利用者数30名（定員35名）

活 動	内 容
作 業 活 動	アルミ缶回収、缶つぶし、リサイクル用品解体
自 立 訓 練	散歩、身体機能訓練、理学療法（相談を含む）、音楽療法、乗馬療法、プール
生 活 活 動	食事、排泄、更衣、歯磨き、社会体験、買物実習、グループ外出、半日外出、昼またぎ外出
文 化 活 動	レクリエーション、園芸、ステンシル、貼り絵などの工作、季節活動、音楽活動、ピアノ鑑賞
在 宅 支 援	相談支援事業所・各種サービス機関等との連携、福祉制度・福祉サービス情報の提供
日 中 一 時 支 援	四日市市の地域生活支援事業として障害者総合支援法に基づく日中一時支援サービスの提供。原則として自立支援給付費の支給決定を受けた方を対象とし、広く市民の方に施設を利用して頂くことを目指した。

- ・あすなろう鉄道・近鉄電車などの公共交通機関を使つての外出や外出先での飲食・買い物体験、また図書館に定期的に出かける体験を取り入れ、利用者の経験領域を広げた。
- ・利用者の重度化と高齢化・ご家族の介護力低下に対応して、利用者の健康管理と身体機能維持のための取り組みに重点を置くとともに利用者一人ひとりの状況に合わせて支援を行った。
- ・アルミ缶回収を通して、地域住民、企業、保育園、小・中学校との交流を深めた。特に、四郷・泊山小学校では児童との交流を深め、環境理解や障害理解の促進に努めた。
- ・地域交流の取り組みとして、たんぽぽ主催のお茶会・餅つき大会・四郷高校吹奏楽部演奏会等の地域交流行事の開催と地域清掃活動を実施した。また、笹川中学校文化祭・四郷高校文化祭・四郷地区文化祭等の学校・地域行事への参加や近隣の四郷在宅介護サービスセンター・四郷保育園・高花平幼稚園に出向き利用者の方と行事を一緒に行う等、交流を深めた。
- ・地域に根ざした施設運営を図るため、地域住民、保護者代表、ボランティア代表等で組織する「施設サービス運営委員会」を年3回開催した。また、四郷地区の防災行事・人権研修等に参加し、地域の一員としての活動に取り組んだ。
- ・危機管理の取り組みとして、利用者個々の健康管理カード・災害時緊急対応カードの年1回の更新と地震または火災を想定した避難訓練を年4回実施した。また、防犯対策として、職員に対して不審者対応マニュアルの周知と防犯研修を行った。
- ・実習生の受け入れにおいて、介護福祉士現場実習3人、教員免許介護等体験4人、四日市市新規採用職員の32人、また卒業後の進路実習としての北勢きらら学園生徒1人の受け入れを行った。

（３）障害者自立支援施設「あさけワークス」（指定管理施設）

就労や生産活動の機会の提供、一般就労に必要な知識や能力向上のために必要な訓練を行う施設

として適切な運営に努めた。利用者の障害特性を把握し、一人ひとりに応じた支援プログラムを考え、個別支援計画に基づいて支援を実施し、利用者の就労意欲を引き出し、利用者によっては就労移行支援事業等への利用を目指せるよう取り組みを行った。

利用者数14名（定員20名）

活 動	内 容
受 注 作 業	シール貼り、ゴム製品バリ取り、銅線紙はがし、ダンボール製品作成作業など
自 主 作 業	点字名刺・名刺刻印作業、ストラップ、クラフト製品作りなど
リサイクル作業	アルミ缶回収、空き缶分別作業
地 域 交 流	夏まつり、花見交流会、地域清掃、福祉の勉強会

- ・地域交流の一環として「夏まつり」を開催し、総勢180名を越える地域の方に参加してもらい、施設及び障害者に対する理解を一層深める事ができた。
また、地域行事である「八郷文化祭」に参加し施設自主製品の即売会を行うなどして、施設のPRに努めた。
- ・八郷地区社会福祉協議会との共催事業「福祉の勉強会」を開催し、視覚障害についての理解を深めるとともに、地域住民と施設利用者との交流を図った。
- ・体験学習の場として、市内小・中学校生徒の福祉体験や職業体験などを受け入れ施設や障害への理解を促す機会を提供した。平成29年度は福祉体験58人、職場体験4人の受け入れを行った。
- ・「働くとは？」をテーマに、グループ毎に分かれて、市内事業所の施設見学をした。見学先の選定等を利用者自身が行い、自己選択・自己決定のスタンスを尊重した。
- ・施設も地域の一員であることを自覚するために、月1回程度、利用者・職員全員で朝明川の堤防沿いを中心に地域の清掃を行った。
- ・地域に根ざした施設運営を図るため、地域住民、保護者代表等で組織する「施設サービス運営委員会」を開催した。
- ・毎月1回地震または火事の発生を想定し、避難訓練を行い、災害時の行動・対応について、及び危機管理意識の向上を図った。
- ・障害者虐待防止や障害者差別解消法などの要点を施設全体で学習し、障害者の権利擁護についての意識向上を図った。
- ・特別支援学校の現場実習(職業体験)を積極的に受け入れ、作業能力の向上と作業態度の育成を図るとともに、社会参加や自立に向けての意識向上に努めた。
- ・実習生の受け入れとして、教員免許介護等体験1人、卒業後の進路実習としての北勢きらら学園生徒4人の受け入れを行った。

（４）障害者福祉センター（指定管理施設）

障害のある人の社会参加と交流の促進を目的として、身体障害者デイサービス事業等を実施するとともに、併せて障害者福祉関係団体の支援や障害者ボランティアの養成、障害者福祉の啓発等を行った。各事業の実施にあたり、市社協がもつ様々の部署と連携して、公の施設として公正・公平かつ専門職によるサービスの提供に努めた。

①身体障害者デイサービス事業

（ア）機能訓練事業

言語訓練では、主に脳血管障害の後遺症により、言語に障害のある人を対象に言語症状や社会参加の状態に合わせて個別及び集団による訓練を行った。高次脳機能障害者の集団訓練は、社会参加の機会を広げ、複数人でのコミュニケーションの実践の場になった。

理学療法では、事故や疾病の後遺症などにより、身体機能が低下した在宅の人を対象に機能訓

練を実施した。特に、家庭でできる自主訓練の指導など、日常的に取り組めるプログラムを提案し、身体機能の維持を目指した。

(イ) 社会適応訓練事業

歩行訓練では、白杖による単独歩行を目指すだけではなく、同行援護（ガイドヘルプ）のサービス利用に向けて、生活上の移動面の自立支援を行った。また、白杖の取得、使い方からガイドヘルプを受ける技術の獲得までを相談で対応した。

また、「点字」という文字を獲得することで、自分自身で生活に必要な情報を得られるよう点字教室を開催した。視覚と聴覚に障害のある重複障害者に対しては指點字を用いてコミュニケーション手段の幅を広げるよう指導した。

(ウ) 創作的活動事業【スポーツ吹矢教室】

スポーツ吹矢の基本動作に含まれる腹式呼吸を用いた、スポーツ吹矢式呼吸法を習得し、健康効果を感じながら、活動ができた。また、定期的に腕試しや段・級位試験を行い、互いの成長を高め合いながら、楽しく交流できた。

●身体障害者デイサービス事業実施状況

				契約者	回数	延利用者数
29 年度	1	機能訓練事業	言語訓練	7名	174回	174名
			社会適応訓練Ⅰ・Ⅱ	7名	37回	113名
			終了者フォロー等		266回	266名
			理学療法	33名	577回	577名
	2	社会適応訓練事業	点字教室 (視覚障害者)	5名	20回	75名
			歩行訓練 (視覚障害者)	4名	45回	45名
			相談等		22回	22名
	3	創作的活動事業	スポーツ吹矢教室	10名	20回	157名
28 年度				契約者	回数	延利用者数
	1	機能訓練事業	言語訓練	7名	128回	128名
			社会適応訓練Ⅰ・Ⅱ	11名	38回	120名
			終了者フォロー等		254回	254名
			理学療法	35名	467回	467名
	2	社会適応訓練事業	点字教室 (視覚障害者)	4名	22回	68名
			歩行訓練 (視覚障害者)	2名	51回	51名
			相談等		19回	19名
	3	創作的活動事業	粘土工芸教室	8名	20回	133名

(エ) 障害児デイサービス事業

18歳以下の児童を対象に、長期休暇中に活動する場を提供するとともに、保護者のレスパイト（休息）等を目的として実施した。家庭や学校では体験できないことを企画し、自律と自主性を育んだ。（利用契約者数42名）

	回 数	小学生	中学生	高校生	合 計
29 年度	11回	28名	8名	13名	49名
28 年度	13回	34名	14名	9名	57名

(オ) 失語症会話パートナーとの交流会

失語症者が失語症会話パートナーを利用して、会話を楽しむ場を提供した。

		参加者	回数	延参加者数
29 年度				
	失語症者	13名	23回	170名
	失語症会話パートナー	21名		180名
28 年度				
	失語症者	15名	21回	181名
	失語症会話パートナー ※実習生含む	30名		204名

(カ) 難聴者・中途失聴者教室

第1回目は難聴者と要約筆記者の2名による難聴者の日常を使ったコントと日常生活についての具体的な工夫や対処法について学んだ。第2回目は、a u NAGOYAから3名の講師の派遣を受け、実際にi p h o n eを手に学んだ。(実際にスマホを活用している難聴当事者の体験談発表も有益なものであった。)

開催日	内 容	参加者
10月15日(日)	「難聴者の楽しい生活のすすめ」BY アイランズ 講師：三重県難聴・中途失聴者協会 日間賀 恵子 氏	15名
3月2日(金)	「難聴・中途失聴者こそ活用できるi p h o n e」 講師：a u NAGOYA スマートフォンプランナー	13名

(キ) 障害者相談業務

障害者の自立と社会参加を促進するため、障害者の抱えている課題の解決に向けて言語聴覚士、理学療法士、歩行指導員など経験豊かな専門職員が相談にあたるとともに、より専門的な相談支援機関への紹介等を行った。

②障害者福祉関係団体の支援

各団体の活動拠点として貸館や、備品の貸出を行った。利用者アンケートやセンター連絡会にて意見を聴取し、より快適な活動環境の整備に努めた。また、障害者大会の成功に向けて支援を行った。

登録団体：四日市市身体障害者団体連合会（6団体）、心身障害者団体連絡協議会（3団体）、障害児者関係団体（31団体）、創作的活動自主サークル（8サークル）、ボランティア団体（13団体）の登録がある。

③障害者福祉に関する啓発・情報提供

(ア) かけはし掲載3回

社協の広報紙『かけはし』の『障害者福祉センターだより WITH』の常設コーナーで四日市市民向けに広報した。今後も紙面の充実や工夫をはかる。

(イ) 障害者福祉講座の開催

開催日	内 容	講 師	参加者
3月10日(土) 会場：四日市市総合会館 7階 第1研修室	「スポーツ観戦に行こう！～現地で障害者スポーツを応援しよう！ バリアフリー旅のすすめ バリアフリーセンターの取り組みから」	(特定非営利活動法人) 伊勢志摩バリアフリーツアーセンター 中山 めぐみ 氏	20名

(ウ) 出前講座の開催

障害者が地域で安心して暮らせるよう地域の障害者に関する理解の促進を図るため出前講座を開催した障害者差別解消法が施行されたこともあり、初めて企業からの依頼があった。職員研修のリーダーとなる立場の方へ、実際の客室を使って、身体障害のある当事者を講師として、理解を深めた。

開催日	依頼者／開催場所	対象	内容・講師	参加者
11月11日(土)	八郷地区社会福祉協議会 場所：あさけワークス	八郷地区 住民	盲ろう者の理解 ・盲ろう当事者による体験発表 ・点字体験（しおり作成） 講師：北澤真紀氏、稲毛洋子氏	31名
12月4日(月)	(株)チョイスホテルズジャパン 場所：コンフォートホテル鈴鹿	チョイスホテルズジャパン トレーニング 課社員	旅先で障害のある人とご家族が明るく快適に自分らしく過ごすヒント 講師：中山 秀子氏	4名

(エ) 要約筆記奉仕員派遣調整等

要約筆記奉仕員派遣を955件（H28年度：334件）（うち、市派遣事業：849件（H28年度：288件））行った。

(5) 障害者自立生活支援センター「かがやき」

障害のある人が地域で自分らしい、心豊かな生活が送れるよう幅広い支援に努めた。支援対象者は身体障害者だけでなく、精神障害と身体障害が重複した重度の人や高次脳機能障害の人も少なくなく、関係機関による支援ネットワークの構築や連携が求められた。

①相談業務

●相談件数（件数）

年 度	実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
29年度	179	124	2	34	12	2	1	18
28年度	215	164	6	39	13	2	2	22

※H28年度 重複含む

●相談方法（件数）

年 度	訪問	来所	同行	電話・メール	ケース会議	関係機関	その他	合 計
29年度	390	246	103	593	41	2,606	76	4,055
28年度	375	385	43	1,003	70	2,724	45	4,645

●相談内容（件数）

年 度	福祉サービス	障害病状の理解	保健・医療	不安解消 情緒安定	保育・教育	家族関係 人間関係	家 計・ 経 済
29年度	2,704	13	495	70	10	147	64
28年度	2,626	11	591	156	11	169	105

年 度	生活技術	就 労	社会参加 余暇活動	権利擁護	その他	合 計
29年度	134	95	24	39	260	4,055
28年度	274	220	26	115	341	4,645

②自立支援協議会生活支援部会の運営

四日市障害保健福祉圏域自立支援協議会の専門部会である生活支援部会において、地域課題の抽出と解決に向けた協議を行った。第4期障害福祉計画にある『施設入所からの地域移行』について地域生活を支える関係者が集まる部会で地域生活を継続するためにはどのような支援が必要かを共有するために、現在地域生活を送っている障害当事者から生活の様子や、将来について不安に感じていることなどを報告してもらった。これにより、地域で暮らし続けるために必要な要素について明らかにすることができ、自立支援協議会運営委員会へ報告した。

また、各事業所連絡会で挙げた課題をテーマに研修会を行い、課題解決のヒントを得たり、支援スキルの向上を図ったりした。

生活支援部会：4回

準備委員会：4回

構成委員：行政、障害者支援施設、共同生活援助事業所、生活介護事業所、就労継続支援B型事業所、居宅介護事業所、障害当事者、相談支援事業所

連絡会：(居住系サービス事業所連絡会関連会議) 5回(うち施設見学&職員交流会2回)

(居宅介護事業所連絡会関連会議) 5回(うち研修会2回、情報交換会1回)

(通所事業所連絡会関連会議) 5回(うち研修会3回)

(GH連絡会関連会議) 8回(うち研修会1回、利用者交流会1回)

③特定相談支援事業

障害者福祉サービス等を申請した障害者について、サービス等の利用計画の作成及び利用計画のモニタリングを行い、障害者の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、よりきめ細かく支援をした。

●計画支援実績

年 度	契約者数	新規計画	モニタリング	更新・変更計画
29 年度	168名	23件	276件	171件
28 年度	160名	16件	288件	159件

(6) 視覚障害者福祉センター

市内在住の視覚障害者を対象に、はり・きゅう・マッサージを職業としている人の技術向上を目的とした三療学術講習会を開催した。

また、情報提供のため、市の公文書などの点訳業務(232件)を行ったほか、団体活動の場を提供した。

講座名	内 容	回数	利用者数
健康講座	8月17日(木)13時30分～15時30分 「健康講座:みんなで取り組む介護予防～健康寿命を延すために～」 社会福祉法人育心会 特別養護老人ホーム 多気天啓苑 理学療法士 大西 昇一 氏	1回	13名
	11月16日(木)13時30分～15時30分 「百歳まで健康に生きる鍵」 鈴鹿医療科学大学 鍼灸学科 教授 佐々木 和郎 氏	1回	12名

(7) 障害者就業・生活支援センター「プラウ」

障害者雇用は新たな障害者雇用率に向けさらに進める必要性があり取り組みを始めている状況にある中、98人が一般事業所に就職。相談者や現在企業にて勤務している人の中にも発達障害が疑われる人が多くなり、知的に重度ではないにもかかわらず、コミュニケーションスキルや社会性で多くの課題を抱えている人が目立ち、ますます専門的な支援が必要とされている。関係機関が連携しての障害者雇用についての啓発や事業所開拓は成果をあげているもののさらに進めるにあたり課題も多く、実行性のあるネットワークの構築が求められる。

①相談業務の実施

●登録状況（名）

年 度	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合 計
29 年度	111	385	381	11	888
28 年度	109	413	364	14	900

●ツール別延べ相談回数（回）

年 度	来 所	電話 文書メール	家庭 入所施設訪問	職場訪問	他の支援機関	合 計
29 年度	1, 331	3, 979	382	824	1, 913	8, 429
28 年度	1, 874	4, 494	566	855	1, 914	9, 703

●相談内容別延べ相談回数（回）

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合 計
就職に関する相談	251	1, 103	1, 668	146	3, 168
職場定着に係る相談	146	1, 474	744	14	2, 378
生活に係る相談	71	416	358	49	894
就業と生活の両方にわたる相談	157	853	973	6	1, 989
合 計	625	3, 846	3, 743	215	8, 429
28 年度	765	4, 208	4, 442	288	9, 703

●就職した障害者の数（名）

年 度	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合 計
29 年度	3	45	49	1	98
28 年度	7	39	28	1	75

②関係機関との連携

（ア）自立支援協議会雇用部会、関係機関連携会議（8回）

参加機関 三重障害者職業センター、三重県雇用対策課、北勢福祉事務所、障害者雇用アドバイザー、四日市公共職業安定所、一市三町障害福祉課、市商工課、学校関係、就労移行支援事業所、精神障害者相談支援事業所、当事者団体等 20 機関。

内 容 各関係機関の取り組みを情報交換し、障害者の雇用について啓発活動や研修会などを実施。また障害福祉計画における取り組みも実施。

（イ）障害者雇用サポートフェア 研修会、移行支援事業所・関連企業見学

（市商工課・四日市公共職業安定所と共催）

日 時 平成 30 年 3 月 9 日（金）

参加人数 50 名

内 容 企業の方に就労移行支援事業所を知ってもらい、障害特性、障害者雇用に関して配慮すべき点、各種支援機関の支援制度を体系的に理解していただくことで、一層の障害者雇用の推進を図ると共に既に事業所に就労している障害のある人の離職を防止し、戦力として定着するための機会として実施。プラウも移行支援事業所とともにブースを構え、企業へ障害者就業・生活支援センターの説明や実習制度の案内等を行った。

（ウ）A型事業所連絡会の開催（3回）

内 容 障害福祉計画を進める体制づくりの中で福祉施設から一般就労に向けての取り組みの一環として、施設にA型事業所も含まれるため、課題等をすいあげることがを目的に実施した。

(エ) 就労移行推進協議会への参加等

内 容 障害者就業・生活支援センターと就労移行事業所との連携強化また就労移行事業所のスキルアップを目的に発足。10か所の障害者就業・生活支援センター、就労移行事業所が協議会委員となり、プラウも委員の一員として、月に1回委員の会議に参加。今年度の取り組みとして事業所職員の抱える悩みや利用者の接し方、アセスメント・ケースワークを中心にセミナーを四日市、松阪で開催した。

③講座の開催

就労・定着支援講座（27名）

日 時 平成29年10月12日（月）

内 容 障害者雇用に関する理解を深め、企業、当事者、支援者等のそれぞれが今後の取り組みの参考にしていくことを目的にして、午前はパネルディスカッション形式にて企業担当者4名、当事者2名の方から発表。午後は障害者雇用における制度及び実習制度の説明、座談会の二部形式で実施した。各企業からは障害のある一人の社員をどのように戦力として活躍してもらえるか、当事者の強みに目を向けて工夫している取り組みや当事者から働いている思いや障害に向き合っている自分についての話をきいた。また障害者雇用における制度や実習制度についての周知と活用、促進に繋げる機会となった。

④定着支援のために

つどい 退社後や休日に集まり、リフレッシュを兼ねた活動や近況報告などをして交流する。

第1回：平成29年 6月 4日（日） 第2回：平成29年 8月19日（土）

第3回：平成30年 3月11日（日）

(8) 障害者就労支援事業ワークセンター

就労を希望する障害者を対象に、市役所等において、就労に向けた職場訓練を行い、就労に対する意識づくりを高め、次のステップへの土台作りを行った。

①職場実習の状況

●実習した障害者別の人数と日数

年 度	身体障害	知的障害	身体・知的重複障害	精神障害	合 計
29 年度	1名	3名	1名	8名	13名
	8日	121日	33日	304日	466日
28 年度	1名	2名	0名	11名	14名
	18日	100日	0日	366日	484日

●職場実習後の状況

就労継続A型事業所2名、就労継続支援B型事業所3名、チャレンジ雇用1名、委託訓練1名

●訓練作業場所の状況

年 度	市役所 執務室	市役所 執務室外	市役所 出先機関	ワークセンター	合 計
29 年度	46	76 (課 職員指揮下39) (WC職員監督下34)		344	466
28 年度	25	56	18	385	484

※市役所執務室 …市役所庁舎内 各課事務室

市役所執務室外…庁舎内会議室・総合会館内研修室・庁舎内印刷室・庁舎内集配室

2. 高齢福祉支援室

(1) 中地域包括支援センター

①包括的支援事業

(ア) 総合相談支援業務及び権利擁護業務

本人、家族、近隣の住民、地域のネットワーク等を通じた様々な相談を受け、管内の在宅介護支援センターと連携し、相談内容に即したサービスや制度に関する情報を提供しながら対象者への個別支援を行った。また、高齢者の権利擁護の観点から支援が必要な方については、三泗日常生活自立支援センター等の関連機関と連携し対応を行った。(相談件数年間6,648件)

＜相談件数＞ (件)

29年度		本人	家族	その他	合計
	来所	41	54	81	176
	訪問	5,163	139	75	5,377
	電話	222	331	542	1,095
	合計	5,426	524	698	6,648
28年度		本人	家族	その他	合計
	来所	39	52	165	256
	訪問	4,803	134	132	5,069
	電話	304	374	646	1,324
	合計	5,146	560	943	6,649

上記のうち、認知症（疑いを含む）に関する相談件数 年間1,061件

高齢者虐待に関する相談件数 年間35件

三泗日常生活自立支援センターと連携し対応を行った件数 年間30件

②包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

(ア) 在宅介護支援センター中ブロック会議

管内の在宅介護支援センター間及び地域包括支援センターと管内の在宅介護支援センター間の連携・情報交換を目的に開催。今年度は、各地区で挙げられた地域課題をもとに、地区・圏域・市レベルそれぞれで取り組むべき課題の整理・解決方法についての意見集約を行った。(年4回)

(イ) 介護サービス事業者との連携

四日市市介護保険サービス事業者連絡会の企画・運営等に参画し、介護支援専門員や、他の介護サービス事業者との連携を図り、質の高いサービスの提供を図るための研修会や情報交換を行った。(介護保険サービス事業者連絡会への参加・年12回、

(ウ) 中地域医療・介護ネットワーク会議の開催

医療と介護の「顔の見える関係づくり」による円滑な連携を推進するため、三師会（医師会・歯科医師会・薬剤師会）、訪問看護ステーション、訪問リハビリ事業所、病院の地域連携室など医療分野の関係者と福祉・介護分野の関係者が一堂に会する会議を開催し、症例検討、グループワーク等を実施した。(全体会 年2回、世話人会 年5回)

(エ) 認知症高齢者等の地域支援体制づくり

認知症高齢者を支えるための基盤づくりとして、地域住民や企業・団体を対象にした認知症サポーター養成講座・フォローアップ講座等の開催、及び地域における認知症に対する理解の促進のための事業の調整及び協力を行った。(年47回)

(オ) 地域包括支援センター連絡会への参加

包括的支援事業の実施状況や介護予防事業の進捗状況の報告及び情報交換のために、市が開催する連絡会に参加した。(年12回)

(カ) 介護支援専門員に対する支援

随時地域の介護支援専門員からの個別相談に応じ、支援困難事例への助言やサービス担当者

会議の開催支援等の対応を行った。また、在宅介護支援センターと協働で介護支援専門員の資質向上、顔の見える関係づくり等を目的に研修会等も開催した。(年67回)

(キ) 地域ケア会議準備会の開催・参加

在宅介護支援センター・生活支援コーディネーター・民生委員等の関係者と共に、地域課題の抽出とその解決方法についての協議を行うと共に、個別・地区地域ケア会議の実施に向けての具体的な検討を行った。(年9回)

(ク) 個別地域ケア会議の開催

在宅介護支援センター・生活支援コーディネーター・民生委員等の関係者と共に、個別ケースの検討を通じて、地域課題の抽出・課題解決方法についての協議を行った。(年6回)

(ケ) 医療・介護連携地域ケア会議の開催

中地域医療・介護ネットワーク会議、世話人会に併せて開催。今年度は、在宅医療・介護連携支援センターつなぐとも連携を図り、医療・介護の連携における課題の抽出等を行った。(年5回)

(コ) 地区地域ケア会議への参加

在宅介護支援センター運営協議会や地域ケアネットワーク会議を通じて、または在宅介護支援センターが独自に地域の介護支援専門員や民生委員等を招集して会議を開催する等、管内の在宅介護支援センターが主催する会議に参加し、地域課題の抽出・課題解決方法の検討を行った。(年22回)

(サ) 地域密着型サービス事業所運営推進会議等への参加

事業所による利用者の抱え込みを防止するとともに、地域の連携が確保され、かつ地域に開かれたサービスとすることでサービスの質の確保を図ることを目的として開催される運営推進会議等に市役所と交代で出席した。(年41回)

③要支援者ケアプラン及び総合事業ケアマネジメント

要介護認定で要支援1・2と認定された方と基本チェックリストで事業対象者と認定された方に対して、自立に向けた具体的目標を明確にした介護予防プランを作成し支援を行った。

<介護予防プラン件数>

年間12,924件(月平均1,077件)内、他事業所への委託分4,912件(月平均409件)

要支援者ケアプラン件数 … 9,227件(内委託3,629件)

総合事業ケアマネジメント件数… ケアマネジメントA 3,268件(内委託1,047件)

ケアマネジメントB 291件(内委託121件)

ケアマネジメントC 138件(内委託115件)

④地域支援事業における介護予防事業

・地域づくりによる介護予防推進事業

地域での住民主体の通いの場の育成、介護予防の取組み支援を行う一環として、介護予防推進員が中心となり、「いきいき百歳体操」の周知、活動支援を行った。「地域で元気アップ!住民説明会」(年23回)、「いきいき百歳体操」活動立ち上げ集中支援(年18回)、自主活動継続支援「介護予防講座」(年33回)を実施した。

⑤参加研修等

三重県主任介護支援専門員更新研修 … 参加2名

三重県介護支援専門員「専門研修課程Ⅱ」(実務経験者更新研修) … 参加3名

認知症初期集中支援チーム研修 … 参加2名

介護予防ケアマネジメント研修 … 参加2名 等

⑥実習生の受け入れ

平成29年度は実習生として看護師8人の受け入れを行った。

(2) 訪問介護事業所

在宅において、日常生活に支障のある高齢者、障害者に対して身体介護や生活援助のサービスを行い安心して在宅生活が送れるよう、また自立支援を目的としてサービスを実施した。

①介護保険訪問介護サービス

・訪問介護事業（介護予防事業・総合事業現行相当サービス含む）の実施

●介護保険・訪問介護サービス介護度別利用者人数（月ごとの集計）

年 度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
29 年度	289人	126人	66人	28人	76人	585人
28 年度	241人	153人	64人	49人	105人	612人

●介護予防訪問介護（総合事業現行相当）サービス区分別利用者数（月ごとの集計）

年 度	要支援1	要支援2	合 計
29 年度	372人	391人	763人
28 年度	440人	320人	760人

●介護保険・訪問介護サービス内容別延利用回数

年 度	生活援助	身体介護	身体生活	合 計
29 年度	2,779回	4,874回	1,072回	8,725回
28 年度	2,862回	5,872回	1,392回	10,126回

●介護予防訪問介護、総合事業現行相当サービス別延利用回数

年 度	介護予防	総合事業	合計
29 年度	2,122回	2,433回	4,555回
28 年度	4,400回	—	4,400回

②障害福祉サービス

・居宅介護事業の実施

●居宅介護サービス利用者数（月ごとの集計）

区 分	身体障害	知的障害	精神障害	合 計
29 年度	401人	95人	204人	700人
28 年度	443人	116人	239人	798人

●居宅介護サービス内容別延利用回数

区 分	家事援助	身体介護	合 計
29 年度	2,682回	6,003回	8,685回
28 年度	3,497回	5,802回	9,299回

（３）通所介護事業所「ゆりかもめ」

- ・「利用者の自立支援」「利用者による選択（自己決定）」「利用者本位」を基本理念に、安全・安心で信頼されるサービスを目指し、食事の提供、入浴、送迎、生活に関する相談・助言、健康状態の確認、その他利用者に必要な日常生活上の支援、並びに機能訓練を提供した。
- ・実利用者数 1,679名、延べ利用者数8,364名、一日平均 28.5名（昨年28.3名）で延べ110名の増となった。特に下半期は利用者が増加し、3月には月平均利用者数も32名となった。
- ・基準緩和通所型サービス A や、「ほんわかカフェ（認知症カフェ）」、小地域サロン等への出前講座等で地域住民に知って頂く機会を積極的につくり、ゆりかもめの通所介護を利用したいと相談に来る利用者や家族が増加した。
- ・介護・環境コンサルタントの導入により、利用者がより自主的に活動ができるように環境整備を行い、サービス提供時間の延長（基本単価の増）を準備する為に職域を超え全職員の意識改革を行った。

●月別利用者数(名)及び営業日数(日) (介護保険・障害者・障害児含む)

29 年 度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	利用 者数	129	130	132	134	137	138	136	141	144	146	152	156	1,679
	延利用 者数	677	685	748	686	695	631	688	701	659	654	706	834	8,364
	営業 日数	24	24	26	25	26	24	25	24	23	23	23	26	293
28 年 度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	利用 者数	100	102	109	109	113	111	113	112	112	116	118	125	1,340
	延利用 者数	698	652	738	753	810	709	702	650	632	590	604	716	8,254
	営業 日数	25	23	26	25	26	24	25	24	23	23	23	26	293

介護保険事業では延べ 8, 2 2 6 人の利用があり、要介護は7 2 % (昨年7 6 %) 介護予防2 8 % (昨年2 4 %) であった。

●介護予防通所介護サービス区分別延利用者数(%)

年 度	要支援1	要支援2	合 計
29年度	959人(42)	1, 335人(58)	2, 294人(100)
28年度	591人(31)	1, 321人(69)	1, 912人(100)

●介護保険通所介護サービス介護度別延利用者人数(%)

年 度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
29年度	3,744 人 (63)	1,051 人 (18)	555 人 (9)	196 人 (3)	386 人 (7)	5,932 人 (100)
28年度	3,055 人 (50)	1,534 人 (25)	1,036 人 (17)	267 人 (4)	255 人 (4)	6,147 人 (100)

●基準緩和通所型サービスA (ゆりかもめA)

要支援状態又は事業対象者である方に対し、残存機能を生かし可能な限り居宅において自立した日常生活を営めるよう心身の機能維持・向上を目指し、他者との交流、高齢者ストレッチ、健康講座、脳トレ等を中心としたサービスを提供した

29 年 度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	利用 者数	16	19	23	22	20	20	19	19	17	17	17	17	226
	延利用 者数	41	45	75	67	46	78	58	49	51	42	48	65	665

<障害児・者デイサービス事業>

障害児に学校休業日や放課後の日中活動の場を提供するとともに、保護者のレスパイト（休養）等を目的として、介護保険のデイサービス事業所等が活用できる「放課後等デイサービス事業」の利用施設として障害児を受け入れた。また、障害者に対する「基準該当生活介護事業所」の利用施設として障害者の受け入れも行った。

●放課後等デイサービス事業利用者数（障害児）

29年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	利用者数	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	13
	延利用者数	4	3	3	4	8	3	3	1	2	1	2	5	39
28年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	利用者数	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	14
	延利用者数	5	3	3	5	7	3	4	2	4	3	2	3	44

●基準該当生活介護事業利用者数（障害者）

29年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	利用者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	延利用者数	9	11	8	9	9	11	10	8	4	9	6	5	99
28年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	利用者数	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	18
	延利用者数	14	14	12	15	15	14	12	11	7	6	9	10	139

（４）くす在宅介護支援センター

①総合相談

四日市市からの委託を受けて楠地区を担当エリアとし、高齢者・障害者等の各種相談に対応した。相談内容に応じて、介護保険サービスのほかに高齢者福祉サービスの申請代行及びインフォーマルサービスが利用できるように調整を行った。

<相談件数>

	本人	家族	その他	合計
来 所	42	85	26	153
訪 問	272	30	12	314
電 話	66	196	147	409
合 計	380	311	185	876

<昨年度実績>

	本人	家族	その他	合計
28年度	371	191	131	693

- ・楠地区民生委員児童委員協議会定例会への参加（毎月第2木曜日）
- ・楠地区社会福祉協議会総会への参加
- ・楠地区内居宅介護支援事業所情報交換会の開催

②地域介護予防普及啓発、福祉活動推進事業

- ・転倒骨折予防教室「こけねえずクラブ」の開催(毎月：第1・3水曜日) 参加者：平均25.8名/月
- ・若がえり体操教室(毎月第2火曜日) 参加者：平均15.1名/月
- ・地域行事への参加
街角くらぶ、老人クラブの集まり等へ参加し、在宅介護支援センターのPR、消費者被害の情報提供を行ったり、介護保険制度の説明、介護予防体操、認知症予防等の出前講座を実施した。
- ・家族介護者の集い「ほんわかカフェ(認知症カフェ)」の開催 毎月1回
4月：22名 5月：22名 6月：18名 7月：15名 8月：27名 9月：24名 10月：25名
11月：22名 12月：20名 1月：24名 2月：23名 3月：22名 合計：264名
- ・「街角カフェ」運営協力
- ・地域住民による基準緩和通所型サービス「楠の木」の運営支援

③介護予防推進事業

- ・「介護予防意識啓発講座」の開催
出前講座形式で実施
実施回数：全18回開催

④地域ケア会議の開催

- ・各団体代表による地域ケア会議 H29. 8月24日(木)
- ・楠地区内居宅介護支援事業所によるミニ地域ケア会議 H29. 11月27日(金)
- ・世代別ミニ地域ケア会議 H30. 1月13日(土)
- ・民生委員とケアマネによるミニ地域ケア会議 H30. 2月 8日(木)
- ・各代表による地域ケア会議 H30. 3月 9日(金)

(5) 居宅介護支援事業所

近年、虐待、ターミナル、認知症独居、若年ケース等さまざまな環境におかれた利用者が増えてきている。また、介護者への支援も必要なケース(介護者が認知症、精神疾患、未成年など)もあり、多職種多様の事業所や関係機関と連携調整が必要となってきたなか、利用者ニーズに即した質の高いサービスを提供する事を目標にマネジメントを行い、居宅サービス計画を作成した。

		居宅サービス計画(ケアプラン)作成件数	一ヶ月平均件数
29年度	居宅介護支援事業所(四日市)	居宅サービス計画作成 173件 介護予防プラン作成 26件 マネジメントA作成 0件	49.7件 ～7月まで
	居宅介護支援事業所(楠)	居宅サービス計画作成 1,007件 介護予防プラン作成 173件 マネジメントA作成 35件	101.2件
	合 計	居宅サービス計画作成 1,180件 介護予防プラン作成 199件 マネジメントA作成 35件	—
28年度		居宅サービス計画(ケアプラン)作成件数	一ヶ月平均件数
	居宅介護支援事業所(四日市)	居宅サービス計画作成 671件 介護予防プラン作成 73件	62.0件
	居宅介護支援事業所(楠)	居宅サービス計画作成 719件 介護予防プラン作成 128件	70.5件
	合 計	居宅サービス計画作成 1,390件 介護予防プラン作成 201件	—

- ・各居宅介護支援事業所においてケースミーティングを開催（年2回）
- ・介護保険サービス事業者等集団指導（1回）
- ・四日市市介護保険サービス事業者連絡会への参加（6回）
- ・医療関係研修（ターミナル、在宅診療、感染症等）（1名）
- ・三重県地域包括・在宅介護支援センター研修会（1名）

（6）介護保険認定調査室

7,705件の要介護認定調査を四日市市からの受託事業として、調査員19人体制で本業務を行った。

基準に則した適正な調査を行うため、市介護・高齢福祉課との同行調査研修や菰野町主催の研修会に参加した。

●月別件数（名）

29年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	在宅	494	562	630	632	623	604	
	施設	95	71	48	26	45	27	
	合計	589	633	678	658	668	631	
	月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	在宅	660	652	592	614	521	490	7,074
	施設	41	52	62	52	55	57	631
	合計	701	704	654	666	576	547	7,705
28年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	在宅	705	665	762	739	623	688	
	施設	66	66	71	91	87	72	
	合計	771	731	833	830	710	760	
	月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	在宅	672	624	623	642	722	695	8,160
	施設	84	105	69	98	91	117	1,017
	合計	756	729	692	740	813	812	9,177

●市介護・高齢福祉課職員との同行調査研修 11月

●参加研修会等

職場外研修 11月16日（木） 三重郡三町認定調査員研修会